令和元年度 事業報告書



社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

目次

Ι	基本方針 【総 括】	. 4
I	重点事業	. 4
1	地域共生社会の実現に向けた地域福祉活動の推進と推進基盤の整備	4
2		
3		
4	総合的な地域福祉推進のための施設のあり方検討	6
Ш.	. 事業実施項目	. 7
1.	地域福祉事業拠点区分	. 7
	(1) 法人運営事業	7
	②評議員会の開催	8
	③監事監査	
	④支部長会議の開催	
	⑤賛助・特別会員の加入促進	
	⑥組織マネジメントの強化	
	⑦「社協・生活支援活動強化方針」等の職員の共通理解の促進	
	⑧地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施	
	⑨復興過程における職員のストレスケア	
	⑩部門間横断の相談支援体制づくり	
	⑪その他	. 12
	(2) 地域福祉推進事業	. 14
	①ふれあいサロン活動助成金交付事業	. 14
	②東松島市地域福祉推進計画の推進(市との共同事業)	. 17
	③福祉のまちづくり支援事業の実施	. 17
	④自治協議会(福祉部会)や市民センターとの連携の推進	
	⑤ふれあいのつどい事業	
	⑥ノーマライゼーション普及事業の実施(夏休みのつどい事業)	
	⑦特別支援学級への学用品等支給事業	
	⑧子ども・若者の居場所づくり支援事業	
	⑨情報発信力の強化	
	⑩東松島市民生委員・児童委員との連携・協働の推進	
	①各種福祉団体の事務支援	
	⑩社福法人・社協連携による「地域における公益的な取組」の推進	
	⑬東松島ふくしネットワーク事業の実施(介護保険事業収益還元事業)	
		
	⑮地域見守り活動の推進(住民支え合いマップ・シルバーメイト事業)	
	⑩障害者支援とまちなか相談所の開設	. 22

	(3) 生活支援体制整備事業(市委託業務)	
	(4) 共同募金事業 (共同募金配分金による事業) ① 東松島市共同募金委員会の運営 ②共同募金一般配分事業の実施 ③総合的学習支援事業の実施 ④ボランティア登録団体助成事業の実施 ⑤歳末たすけあい配分事業	. 26 . 28 . 28
	(5) ボランティアセンター事業.①地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくり.②ボランティア・市民活動センター機能の充実.③生活支援ボランティア活動の事業推進(ひがまつあんしんサポート事業).	. 29
	(6) 老人福祉センター運営事業(市委託業務) ①東松島市老人福祉センターの指定管理 ②老人福祉センター運営事業(いったりかったりサロン事業・お休み処「湯楽里」)	. 32 . 33
	(7) 高齢者生活支援事業(市委託業務) ①外出支援移送サービスの実施	
2.	総合相談事業拠点区分	35
	(1) 生活困窮者自立促進支援事業(市委託業務) ①自立相談支援事業と②家計相談支援事業	
	(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業(市委託業務) ①多機関の協働による包括的支援体制構築事業	
	(3) 生活福祉資金貸付事業(県社協委託業務) ①生活福祉資金貸付事業の実施 ②特例緊急小口資金貸付(新型コロナウイルス関連)	. 50
	(4) 生活安定資金貸付事業.①生活安定資金貸付事業の実施.②一時援護資金貸付事業の実施.③生活用品等支援事業(緊急を要する要援護者への物品給付)の実施(自主事業).④火災見舞金支給事業の実施(自主事業).	. 50 . 51 . 51
	(5) 日常生活自立支援事業 (県社協委託業務)①日常生活自立支援事業 (まもりーぶ) の実施	
	(6) 生活復興支援資金貸付事業(県社協委託業務) ①生活復興支援資金貸付事業の実施	
3.	在宅介護事業拠点区分	52
	(1) 訪問介護事業(介護保険)、(2) 訪問介護(障害福祉)	. 52
	(3) 居宅介護支援事業 ①居宅介護支援事業の実施	

4.	被災者支援事業拠点区分	54
	(1) 被災者サポートセンター運営事業 (市委託業務)	54
	①寄り添い型被災者生活支援の実施	54
	②こころと体のケア事業	56
	③復興福祉のまちづくり事業	57
	④地域交流促進事業	58
	⑤いきいき百歳体操とサロン活動の推進	59
	⑥高校生ボランティア創出事業	
	⑦被災者法律相談強化事業	62
	⑧復興支援ボランティア団体情報共有化事業	62
	⑨復興支援ボランティアの受け入れ調整と派遣	63
	⑩ものわすれ予防事業	
5.	地域包括支援センター事業拠点区分	65
	(1) 地域包括支援センター事業(市委託業務)	65
	【1】第1号介護予防支援事業	65
	【2】包括的支援業務	65
	【3】多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	71
	【4】地域ケア会議の実施	71
	【5】指定介護予防支援	
	【6】任意事業、その他の業務	72

社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

令和元年度事業報告

I 基本方針 【総 括】

令和元年度は、およそ30年続いた平成の時代から新しい「令和」の時代の幕開けの年となりました。震災から9年が過ぎ、東松島市においては被災者の高齢化がすすむにつれ、一人暮らし高齢世帯が増加し、心身の健康維持、社会的孤立など、震災前からの課題がより深刻化・加速化している状況にあります。

国においては、近年の少子高齢化、人口減少問題を背景に、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援法の施行・見直し、平成30年には地域共生社会の実現をめざした改正社会福祉法が施行され、令和の幕開けとともに、地域福祉を基盤とした新しい地域づくりと包括的な支援体制づくりに向けた福祉制度の改革がすすめられています。

本会では、このような動向を踏まえ令和元年度においては、第2期地域福祉推進計画におけるすべての事業・活動において、改正法による住民を主体とした「我が事・丸ごと」の地域づくりと全世代・全対象型の包括的な支援体制の整備に向けた素地づくりと終盤を迎える被災者支援事業の地域福祉事業への転換を見据えた事業展開に重点を置き取り組みました。

「我が事・丸ごと」の地域づくりにおいては、被災者支援で培ったいきいき百歳体操やふれあいサロンなど、住民が主体的に取組む活動を拡大・活性化し、生活支援体制整備による住民を基盤とした地域支え合い文化の醸成に努めました。また、全世代・全対象型の包括的な支援体制の整備においては、社協が支援機関・団体等が協働する場(プラットフォーム)としての役割を果たすことをめざし、社協の相談支援機能の統合・強化に向けた組織再編と国のモデル事業を活用した多機関の協働による包括的な支援体制構築事業に取り組みました。

年度終盤において、新型コロナウイルスの影響により、一部事業の中止を余儀なくされましたが、概ね計画どおりの進捗となっています。

以下、重点事業への取組みは次のとおりです。

Ⅱ 重点事業

1 地域共生社会の実現に向けた地域福祉活動の推進と推進基盤の整備

いきいき百歳体操、ふれあいサロン、シルバーメイト高齢者見守り事業実施団体への財政支援を継続し、住民が主体となった小地域福祉活動の定着と 実施団体の拡大を図りました。また、ひがまつ安心サポート事業の協力会員 の増強に努め、利用の促進と制度の谷間にある福祉サービスの提供に努めま した。

生活支援体制整備事業による第1層協議体においては、市民を対象に「誰もが取り組める社会参加と介護予防~本当の意味での支え合い~」をテーマ

としたフォーラムの開催や全世帯向けの啓発パンフレットを作成するなど、住民主体の福祉サービス提供体制構築に向けた住民の理解促進に努めました。赤井、大曲、野蒜の第2層協議体では、地域活動情報の共有化と周知方法、地域の見守り体制づくり、高齢者の地域参加など、それぞれの地域が抱える課題と解決方策の検討がすすめられています。さらに、第2層協議体の組織化をめざす大塩、矢本東地区では、まちづくり協議会の協力により、準備会を立ち上げ、生活支援コーディネーターによる先行事例の紹介や制度理解のための研修会を開催するなどし、来年度の組織化に向けた支援を行いました。

相談支援機関や民生委員・児童委員による地域福祉活動圏域(市内8エリア)での「ゆったりサロン」を開催し、住民同士のつながりづくりや地域生活課題への関心を高める取組みを行うなど、住民による地域福祉活動の推進に努めました。

社協が支援機関の協働する場(プラットフォーム)としての役割を果たすことをめざし、国のモデル事業を活用した相談支援包括化推進員を配置しました。 行政機関をはじめ、障害事業所、社会福祉法人・福祉施設、介護支援団体、農協、病院、警察、弁護士など、協働する場への参加を働き掛け、多機関協働のネットワークづくりに努めました。

複合化する地域生活課題への対応を統括する福祉総合相談支援係を新設し、 東部地域包括支援センターとくらし安心サポートセンターの相談スペースの 統合化を図り、社協の相談支援組織の包括化を推進しました。

社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を共同ですすめ、地域に貢献することを目的に、社協が主体となり市内6法人による社会福祉法人連絡会を設立しました。連絡会の共同事業として市内8カ所の福祉施設に「福祉なんでも相談窓口」、社協内に「福祉総合相談窓口」を開設し、相談支援の包括化をめざした体制づくりに取り組みました。

2 被災者の「心の復興」をめざした支援活動の推進

震災被災者の「心の復興」については、LSAによる定期的な個別訪問活動を通じ、孤立防止、生活課題の把握と支援機関へのつなぎによる解決に努めました。また、被災者個々に寄り添い、生活ステージの変化に応じた的確なニーズの把握と今後の支援の標準化をめざし、災害ケースマネジメントで提唱する「世帯アセスメント手法」の調査・研究を行い、試行的な取組みを開始しました。

健康上のハイリスク者へは看護師等の専門職による定期観察と状態の変化を分析するなど、きめ細かな支援に努めました。

企業のCSR活動やボランティアによるコンサートや共同募金を活用した 創作活動を開催し、コミュニティづくりや生きがいづくり等の心の復興に取り 組みました。

3 震災の風化防止と災害多発時代に対応した組織運営

全国的に大きな被害もたらした台風 19 号での豪雨災害においては、災害対策本部を設置し、被災状況の確認と市対策本部との情報共有や連絡調整にあたりました。避難勧告と同時に福祉避難所を開設し、重度の障害を抱える要援護者世帯のケアに努めました。

相馬市をはじめ、大郷町、大崎市、丸森町の各社協が開設した災害ボランティアセンターと石巻市の緊急小口資金貸付業務に、延べ60人の応援職員の派遣を行いました。最も被害が大きかった丸森町には市民ボランティアを募り、30人のボランティア派遣を行いました。

国・県・市などの復興支援機関に所属する復興支援ボランティア団体(22 団体)のプラットフォーム機能を社協が担い、災害公営住宅等での活動調整にあたりました。兵庫県が毎年実施している新任職員研修を受け入れ、災害多発時代のボランティア教育にも努めました。

4 総合的な地域福祉推進のための施設のあり方検討

社協事務所の統合化と総合的な地域福祉推進拠点の整備の在り方について、 行政と協議をすすめてきました。

社会福祉法改正に伴う相談支援の包括化をめざし、東部地域包括支援センターとくらし安心サポートセンターの老人福祉センター内でのスペース統合に向け行政との協議をすすめ3月に完了しました。

また、地域福祉課が同居している被災者サポートセンターの令和2年中の解体については、社協事務所の統合化と移転先の協議をすすめた結果、移転先が決まるまで行わないことになりました。

全世代・全対象型の(仮称)福祉プラザの建設については、これまでも行政側との協議をすすめてきましたが、必要性は認めるものの、その財源や時期については示されていません。当面、被災者サポートセンターの解体後の事務所の統合移転をめざし、候補地の選定や時期について協議を継続していくことにしています。

Ⅲ. 事業実施項目

1. 地域福祉事業拠点区分

(1) 法人運営事業

①理事会の開催

名称	時期	議題	出席者
第1回 通常	6月6日	議案第1号 平成30年度事業報告及び計算書類等の 承認について(監査報告) 議案第2号 理事・監事選任候補者の推薦について 議案第3号 定時評議員会の招集について 【全議案原案可決】 報告事項 ・会長及び常務理事の職務執行状況報告 議案第4号 会長の選任について 議案第5号 副会長の選任について 議案第6号 常務理事(業務執行理事)の選任について 議案第7号 事務局長の選任について 議案第9号 評議員選任・解任委員会の招集及び評 議案第9号 評議員選任・解任委員会の招集及び評 議員選任候補者の推薦について	出 理11 監 3 理13 監 3
第 2 回 臨時	8月9日	【全議案原案可決】 議案第10号 不正着服事件に関する今後の対応について 議案第11号 令和元年度資金収支第1次補正予算について 議案第12号 定款施行細則の一部を改正する規程について 議案第13号 事務局組織規程の一部を改正する規程について 議案第14号 令和元年度第1回臨時評議員会の招集について 議案第15号 東松島市くらし安心サポートセンター設置規程の一部を改正する規程について(追加議案)	理事 12 事 3 人
第2回通常	11月 22日	議案第16号 令和元年度資金収支第2次補正予算について 議案第17号 職員就業規則の一部を改正する規程について 議案第18号 臨時職員就業規則の一部を改正する規程について 議案第19号 再雇用職員就業規則の一部を改正する規程について 議案第19号 再雇用職員就業規則の一部を改正する規程について 議案第20号 登録ヘルパー就業規則の一部を改正す	理事 12人 監事 3人

する規程について	
議案第21号 令和元年度第2回臨時評議員会の招	
集について	
【全議案原案可決】	
報告事項・会長及び常務理事の職務執行状況報告	
・監事の監査結果の報告について	
・監督官庁が実施した検査又は調査の結	
果について	
議案第22号 令和元年度資金収支第3次補正予算	
について	
議案第23号 令和2年度事業計画及び資金収支予	
算について	
議案第 24 号 東日本大震災生活復興支援基金の取	
り崩しについて	
議案第25号 (債) 令和元年度被災者サポートセ	
ンター運営業務契約の締結について	
議案第26号 令和2年度生活支援体制整備事業業	理事
務契約の締結について	15人
議案第27号 令和2年度多機関の協働による包括	監事
的支援体制構築業務契約の締結について	3 人
議案第28号 東松島市老人福祉センターの管理に	
関する協定の締結について	
議案第 29 号 職員就業規則等の一部を改正する規	
則について	
議案第30号 令和元年度第3回臨時評議員会の招	
集について	
【「決議省略」全議案みなし可決】	
	議案第 21 号 令和元年度第 2 回臨時評議員会の招集について 【全議案原案可決】 報告事項 ・会長及び常務理事の職務執行状況報告・監事の監査結果の報告について・監督官庁が実施した検査又は調査の結果について 議案第 22 号 令和元年度資金収支第 3 次補正予算について 議案第 23 号 令和 2 年度事業計画及び資金収支予算について 議案第 24 号 東日本大震災生活復興支援基金の取り崩しについて 議案第 25 号 (債)令和元年度被災者サポートセンター運営業務契約の締結について 議案第 26 号 令和 2 年度生活支援体制整備事業業務契約の締結について 議案第 27 号 令和 2 年度多機関の協働による包括的支援体制構築業務契約の締結について 議案第 28 号 東松島市老人福祉センターの管理に関する協定の締結について 議案第 29 号 職員就業規則等の一部を改正する規則について 議案第 30 号 令和元年度第 3 回臨時評議員会の招集について

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「決議の省略」提案書提出 提出者 会長 海道 義 令和2年3月11日

②評議員会の開催

名称	時期	議題	出席者
第1回 定時	6月21日	議案第1号 平成30年度事業報告及び計算書類等の 承認について(監査報告) 議案第2号 理事・監事の選任について 【全議案原案可決】	評議員 14人 監事 3人
第1回臨時	8月22日	議案第3号 令和元年度資金収支第1次補正予算に ついて 【全議案原案可決】	評議員 12人 監事 2人
第2回臨時	12月3日	議案第4号 令和元年度資金収支第2次補正予算に ついて 【全議案原案可決】	評議員 16人 監事 3人

		議案第5号 令和元年度資金収支第3次補正予算に	
*		ついて	
第3回	3月27日	議案第6号 令和2年度事業計画及び資金収支予算	評議員
臨時		について	18 人
		【「決議省略」全議案みなし可決】	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「決議の省略」提案書提出 提出者 会長 海道 義 令和2年3月19日

③監事監査

平成30年度決算並びに令和元年度(平成31年度)における理事の業務執行状況及び財産状況等の監査を実施した。

時期	内容	出席者
5月14日	平成 30 年度事業実績	会長、監事3人、事務局4人
~15 日	平成 30 年度会計決算監査	云坟、监事 3 八、事務同 4 八
7月29日	第1·四半期監査	会長、監事3人、事務局4人
1万29日	(4月1日~6月30日)	云文、监事3八、事務周4八
10月29日	第2・四半期監査	 会長、監事 3 人、事務局 4 人
10 月 29 日	(7月1日~9月30日)	云文、监事3八、事伤问4八
1月27日	第3・四半期監査	会長、監事3人、事務局4人
1月21日	(10月1日~12月31日)	云文、鱼尹&八、争伤问4八

④支部長会議の開催

開催時期:8月19日

場所:大塩市民センター(多目的ホール)

内容:(1)平成30年度社会福祉協議会事業報告及び収支決算について

- ○地域支え合い事業について
- · 東松島市生活支援体制整備事業
- ・ふれあいサロン
- ・地域見守り活動(シルバーメイト事業)
- ・有償助け合いサービス(ひがまつ・安心サポート事業)
- (2) 令和元年度社会福祉協議会事業計画及び収支予算について
- ○地域共生社会の実現に向けた取り組みについて
- (3)令和元年度社会福祉協議会会費の納入及び福祉のまちづくり支援事業の申請について
- (4) その他
- ・東松島市共同募金委員会からのお知らせ

⑤賛助・特別会員の加入促進

8月開催の支部長会議において、戸別集金や区費からの間接納入の促進を図った。また、特別会員についてはダイレクトメール等により企業・団体に加入促進を図った。

(円)

種類	種類 会費		元年度	平成 30 年度		対比	
性親	云頂	加入数	収納額	加入数	収納額	加入数	収納額
一般 会員	1, 200	11,078	13, 293, 600	10, 733	12, 879, 600	345	414, 000

賛助 会員	3,000	38	114, 000		93, 000	21, 000
特別 会員	3,000	188	564, 000	_	558, 000	6, 000

⑥組織マネジメントの強化

諸規程の制定・改廃(平成31年・令和元年)

番号	規程名	公布日	施行日
第1号	事務処理規程の一部を改正する規程	3月4日	4月1日
第2号	登録ヘルパー就業規則の一部を改正する規 程	3月20日	4月1日
第3号	社協生活復興支援センター設置規程の一部 を改正する規程	3月20日	4月1日
第4号	生活安定資金運営規程の一部を改正する規程	3月20日	4月1日
第5号	事務局組織規程の一部を改正する規程	3月20日	4月1日
第6号	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会指定 訪問介護事業所(指定介護予防訪問介護事 業所)運営規程の一部を改正する規程	4月30日	5月1日
第7号	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会障害 福祉訪問介護事業所運営規程の一部を改正 する規程	4月30日	5月1日
第8号	定款施行細則の一部を改正する規程	8月13日	9月1日
第9号	事務局組織規程の一部を改正する規程	8月13日	9月1日
第 10 号	職員就業規則の一部を改正する規程	11月25日	12月1日
第11号	臨時職員就業規則の一部を改正する規程	11月25日	12月1日
第 12 号	再任用職員就業規則の一部を改正する規程	11月25日	12月1日
第 13 号	登録ヘルパー就業規則の一部を改正する規 程	11月25日	12月1日

諸規程の制定・改廃(令和2年)

番号	規程名	公布日	施行日
第1号	指定訪問介護事業所(指定訪問介護相当サービス事業所)運営規程の一部を改正する 規程	2月13日	2月13日

第2号	障害福祉訪問介護事業所運営規程の一部を 改正する規程	2月13日	2月13日
第3号	指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を 改正する規程	2月13日	2月13日
第4号	職員就業規則等の一部を改正する規則	3月18日	令和2年 5月1日
第5号	臨時職員就業規則等の一部を改正する規則	3月18日	令和2年 5月1日
第6号	登録ヘルパー就業規則等の一部を改正する 規則	3月18日	令和2年 5月1日

⑦「社協・生活支援活動強化方針」等の職員の共通理解の促進

前年度の「社協・生活支援活動強化方針」に関する内部研修に続き、本年度は強化方針が目指す、地域共生社会の実現に向けた社協の事業・活動の展開を具体化するため、以下の取組を行った。

■地域共生社会推進チームの設置

部門を横断した内部連携プラットフォームを構築し、以下の取組を実施

- (1)「地域共生社会」に関する共通理解の促進 基本文献「地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進について」 (厚生労働省 平成29年12月12日)の読み合せ
- (2)「地域共生社会の実現に向けた東松島市における包括的な支援体制づくり」の策定及び具体的な事業の企画及び実施

※この取組により実現した事業

- ・集いの場×相談支援「ゆったりサロン」
- ・地域福祉ネットワーク会議 ※民生委員と専門職の顔の見える関係づくり「ゆったりサロン」と同時開催
- ・福祉なんでも相談窓口

■評議員・役員等研修会

開催時期:12月11~12日

場 所:松島町(ホテル松島大観荘)

内 容:「地域共生社会」の実現に向けた包括的な支援体制構築に関する

政策動向と東松島市社協の取組みついて

参加者:評議員・役職員

■外部研修・セミナー等の受講

研修会:令和元年度社会福祉協議会活動全国会議(全社協主催)

開催時期:11月19~20日

場 所:ニッショーホール、全社協灘尾ホールほか

内 容:テーマ:地域共生社会の実現に向けた社協における生活支援活動の

強化の実践~協働の中核を担うために求められること~

参加者:職員3人

⑧地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施

なし (昨年助成した職員が「社会福祉士」に合格)

⑨復興過程における職員のストレスケア

未実施

⑩部門間横断の相談支援体制づくり

- ■地域共生社会推進チームの設置 (再掲)
- ■サポートセンター世帯アセスメント共有会議

岩手県社会福祉協議会が考案した「世帯アセスメント基準」を導入し、相談支援包括化推進員、くらし安心サポートセンター、地域包括支援センター、生活復興支援センター合同で、災害公営住宅の世帯アセスメントを実施。複合的な課題を抱える世帯に対する支援調整やケース進行管理を行った。

⑪その他

■顕彰関係

令和元年度宮城県社会福祉大会受賞者 (敬称略)

種別	功労内容	受賞者
宮城県知事表彰	民間社会福祉団体	さくらんぼ会 点訳サークル ボランティア「優遊」
	社会福祉協議会役職員功労者	木村優一、木村敏子
宮城県社会福祉協	ボランティア功労者	木村アサ子
議会会長表彰	ボランティア功労団体	保育ボランティア サンサンサン
宮城県共同募金会	奉仕功労者	今野勝彦、成澤孝一
会長表彰	奉仕・特別協賛団体	鳴瀬未来中学校 鳴瀬桜華小学校
	篤志寄附者	小池康裕
宮城県共同募金会 感謝状	篤志寄附団体	東松島ライオンズクラ ブ ササキストア 24
	奉仕功労者	松川浩、中島和義、 齋藤穎喜、内海茂之

■寄附金品等の受納状況

- ·一般寄附金 19 件 678,651 円
- · 震災対応寄附金 2件 152,477 円
- ・寄附物品・奉仕活動 11件

内容:①普通自動車

(トヨタハイエースワゴン1台: 東松島市工務店協同組合)

- ②寝具一式③おむつ④車いす⑤葉書⑥煎餅、米⑦切手
- ⑧老人福祉センター敷地内植木剪定作業⑨敷地内除草作業

■先進地視察研修

開催時期:2月3日~5日

視察先:盛岡市社会福祉協議会、大船渡市社会福祉協議会、気仙沼市社

会福祉協議会

目 的:「今後の被災者支援活動」の取り組み状況の調査・研究

参加者:海道会長、阿部常務ほか職員7人

■4 社協(日光市・相馬市・妙高市・東松島市)地域福祉連絡会の開催

開催時期:9月27日~28日

開催地:栃木県日光市(足尾保健・高齢者生活福祉センター)

目 的:「東日本大震災」「平成27年9月関東・東北豪雨」を契機とし

た、社協間の連携強化と地域福祉推進施策の調査・研究を行っ

た。

参加者:阿部常務ほか職員4人

■台風 19 号の対応状況

1. 社協の対応と福祉避難所の開設

- ・10月12日(土)、午前9時、東松島市災害対策本部が設置され、千葉次長が市本部員会議に出席し、その都度台風の影響、被害状況等について、情報の収集と社協内部での情報共有を図った。
- ・会長以下全職員参集のもと、社協災害対策本部を設置し、福祉避難所開設 と受け入れ態勢を整えた。
- ・市災対本部の指示により、午後4時40分、地元民生委員とともに訪れた 1家族2人(夫、重度の上下肢体麻痺、全面介助・妻が介助人)を収容し 介護職員を中心にケアに努め、一夜を明かし、翌日午前10時帰宅した。
- 2. 災害被災地への職員応援派遣
- ・災害ボランティアセンター運営スタッフの派遣

ア 福島県相馬市社会福祉協議会

派遣期間: 10月18日~10月30日 派遣職員数4人

イ 大郷町社会福祉協議会

派遣期間: 10月23日~10月31日 派遣職員数3人

ウ 丸森町社会福祉協議会

派遣期間: 11月15日~11月19日 派遣職員数3人

※石巻圏域2市1町合同チーム派遣

派遣期間:1月9日~1月20日 派遣職員数3人

・緊急小口資金特例貸付相談受付スタッフの派遣

派遣先: 石巻市社会福祉協議会

派遣期間 : 11 月 11 日~11 月 15 日 派遣職員数 2 人

- 3. 東松島市緊急小口資金特例貸付相談受付窓口の開設
- ・県社協の貸付窓口として、11月11日から老人福祉センター内に設置 (受付期間11月11日~当面の間、受付時間9時~16時)
- 4. ボランティアバスの運行
- ・12 月 7 日 (十) 丸森町へ 参加人数 30 人
- (1. 地域福祉事業拠点区分 (5) ボランティアセンター事業 ①地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくりに再掲)

■長期貸付金の債権保全について

長期貸付金の弁済期限(令和元年8月末日)の到来を迎え、今後の債権の保全、回収を確実に行うため、弁護士に債権回収業務を委任し、債務者及び連帯保証人との間で債務弁済に関する公正証書を作成した。 (返済状況)

	金額
長期貸付金の貸付総額	23, 085, 570 円
前年度末の返済残額	12, 952, 570 円
年度中の返済額	1, 122, 000 円
年度末の返済残額	11,830,570円

■全社協「福祉ビジョン 2020」策定作業委員会への参画

平成23年に策定した「全社協・福祉ビジョン2011」の改定作業委員会に阿部常務理事(全社協・政策委員会幹事)が参画し、新ビジョンの策定にあたった。

WI DILWARD	1)1 20 H	
・第2回作業委員会	8月30日	内容・項目の検討
·第3回作業委員会	9月20日	地域共生社会に向けた諸施策の検討
·第4回作業委員会	10月7日	「福祉ビジョン 2020」素案の検討
· 第 5 回作業委員会	11月11日	行動方針検討

7月26日 現ビジョンの検証 洗い出し

・第6回作業委員会 12月10日 「福祉ビジョン 2020」案の検討・第7回作業委員会 1月27日 ビジョン素案に対する意見集約

・第6回政策委員会幹事会 2月21日 「福祉ビジョン2020」決定

(2) 地域福祉推進事業

①ふれあいサロン活動助成金交付事業

第1回作業委員会

地域の身近な場所で住民が自主的・主体的に活動を行う「ふれあいサロン」に助成金を交付し、小地域での福祉活動の拡充と活性化を図った。

- ・東松島市「通いの場事業費」財源分:50 団体、4,184,500円
- 社協「小地域福祉活動事業費」財源分:11 団体、265,750 円
- ■小地域福祉活動団体及び「ふれあいサロン活動助成金」交付先

番号	地区 団体名		助成金	(円)
	70 P		市	社協
1	野蒜	かたくり会	72,000	_
2	矢本西	三角公園自治会いきいき三燦会	96, 000	_
3	小野	川下ふれあいサロン	_	_

4	大塩	裏沢いきいきほっとサロン	120,000	_
5	矢本西	爺・婆まけん隊	96, 000	_
6	大曲	ヘルシーカフェあがらいん茶屋	120, 000	_
7	宮戸	ほっこり常楽会	_	_
8	赤井	105 ピンピン体操の会	72,000	_
9	赤井	南三区なごみ会	96, 000	_
10	矢本東	いきいき長寿会	_	_
11	赤井	柳西地区自治会	-	_
12	矢本東	あおい元気サークル	120,000	_
13	矢本東	なごみ百歳体操	120,000	_
14	矢本西	笑母倶楽部	-	-
15	矢本東	下小松地区自治会	80,000	_
16	矢本東	下町べっぴん百歳体操	120,000	_
17	赤井	柳西区はまなす会	-	_
18	小野	ひまわりの会	_	_
19	野蒜	スマイル元気会	72,000	_
20	赤井	にこにこサロン	-	_
21	矢本東	やよい会	-	15,000
22	矢本西	にっこり百歳体操	120,000	_
23	大塩	中自治会お茶っこ飲みの会	-	-
24	大曲	百歳体操よつばの会	96,000	-
25	小野	笑顔の会	_	-
26	矢本東	あいサロンぽっぽ	120,000	-
27	野蒜	チーム楽楽楽	72,000	-
28	小野	お茶っこの会	-	_
29	大塩	なんだ坂こんな坂サークル	120,000	_
30	野蒜	東名ふれあいサロン	-	_
31	野蒜	いきいき会	-	_
32	矢本東	カトレア会	48, 000	_
33	赤井	南区和幸会	-	_
34	野蒜	東名地区あざみの会	96, 000	_
35	矢本西	鹿妻いきいきほっとサロン	-	30,000
36	小野	遊楽楽会	72, 000	_
37	小野	しゃんしゃんとクラブ	-	_
38	小野	はつらつシニア	-	_
39	矢本西	前里自治会	-	_
40	矢本西	小松南住宅シニア・クラブ	-	_
41	矢本東	作田浦自治会	87, 500	_
42	野蒜	のびる多面的機能自治会(中下いきい きちょっこら会)	48,000	-
43	小野	川下百歳体操	96, 000	_
44	矢本東	いきいき桜の会	-	_
45	矢本東	上若百の会	120,000	

46	赤井	川前サルビア会	_	_
47	赤井	さくらんぼ会	60,000	_
48	野蒜	野菜っこクラブ	_	_
49	小野	肘曲にこにこサロン	_	17, 250
50	矢本西	悠悠クラブ	_	_
51	小野	西福田地区こまち	96, 000	_
52	小野	下福田おそうじ隊	_	_
53	大塩	塩入いきいきホットサロン	_	_
54	赤井	1.5 会	_	_
55	小野	新道町内会自治会	96,000	_
56	野蒜	浅井百歳体操会	48,000	_
57	赤井	ひいらぎ会	_	_
58	大塩	あったかサロン・シオイリ	120,000	_
59	矢本東	下町一ふわふわ会	_	_
60	矢本東	下町四地区自治会お茶っこ飲み会	_	_
61	矢本西	ホットサロンたんぽぽの会	_	12,000
62	矢本東	大溜ひばり会	_	_
63	野蒜	シャンシャン会	_	_
64	野蒜	男クラブ	_	_
65	大塩	大塩スマイル	96, 000	_
66	宮戸	里浜げんきクラブ	80,000	_
67	矢本東	大溜なのはなクラブ	96, 000	_
68	大曲	大曲地区ピンポンクラブ	_	55,000
69	大塩	大島地区健康体操	72,000	_
70	矢本東	谷地区自治会(お茶サロン谷地)	94, 000	_
71	赤井	なないろの会	_	_
72	大曲	五味倉地区自治会	_	_
73	矢本西	ひよこクラブ	_	-
74	小野	川下グランドゴルフ愛好会	_	24,000
75	宮戸	ピンコロ体操	48,000	1
76	矢本東	あおい一丁目地区自治会	_	30,000
77	赤井	「いきいきクラブ」	48,000	_
78	赤井	下区ボランティアコスモス会	_	_
79	矢本東	あじさい会ふれあいサロン	_	1
80	大曲	横沼櫻木の会	100,000	1
81	赤井	南新町月曜サロン	_	1
82	小野	健康マージャン愛好会	_	_
83	赤井	下区福寿会	_	_
84	矢本東	下町一自治会お茶っこ会	_	
85	野蒜	NPO 法人のんびーりすみちゃんの家	_	_
86	矢本西	河戸自治会	96, 000	_
87	大曲	さくらホットサロン	_	23,000
88	野蒜	春カラオケ会	_	_

89	赤井	川前集会所運営協議会	_	_
90	大塩	もみじ会	_	_
91	宮戸	お茶のみ友の会	_	15,000
92	赤井	柳北自治会生き活きライフクラブ	70, 500	_
93	大塩	表百歳体操	96, 000	_
94	赤井	お達者クラブ	_	_
95	矢本東	ひまわり会	72,000	_
96	大曲	レクダンス「ケセラセラ」	_	_
97	大曲	横沼ピンポン愛好会	_	_
98	野蒜	浅井長生会	_	_
99	大塩	小分木 110 歳	54, 000	_
100	矢本西	前柳月見草	54, 000	_
101	矢本西	沢田いきいき 101 歳	54,000	_
102	矢本西	上小松いきいき会	48,000	_
103	赤井	すみれ会	67, 500	_
104	矢本西	手招ひまわり会	72,000	_
105	小野	上下堤みんなでいきいき楽しむ会	50,000	_
106	矢本西	ふれあいサロン「立華会」	45, 000	_
107	小野	根古ふれあいサロン	_	4, 500
108	矢本西	鹿妻百歳体操サークル	72,000	_
109	野蒜	野蒜グランドゴルフ愛好会	_	40,000
			50 団体	11 団体
			4, 184,	265, 750
			500 円	円

②東松島市地域福祉推進計画の推進(市との共同事業)

- ■ワーキンググループ会議
 - ・第18回ワーキンググループ会議7月17日 ア新委員(5人)の推薦状況について イ第1回地域福祉推進委員会開催について協議
 - ・第 19 回ワーキンググループ会議 8 月 20 日 新委員の推薦手続き等の検討協議

■地域福祉推進委員会

- ·第1回地域福祉推進委員会 8月23日
 - ア 委員長・副委員長の互選
 - イ 東松島市における「地域共生社会」の実現に向けた地域福祉の推 進方策等の説明
- ・第2回地域福祉推進委員会 3月予定 ※新型コロナウイルスの影響で中止

③福祉のまちづくり支援事業の実施

令和元年度福祉のまちづくり支援事業実施要綱により、社協・支部が実施する地域福祉の向上を目的にした事業・活動に対する助成を実施し、「福祉のまちづくり」の推進を図った。(助成金の上限:納入会費の20%)

(助成事業実績)

事業区分	件数	主な内容	成果等(実績報告書から抜粋)
高齢者福祉事業	65 件	地区敬老会、老人クラブ助成、独居老人見舞金、記念品配布、健康セミナー等	敬老会を開催し内容(踊り、カラオケ、マジック等)は喜んでもらえた。 参加対象者は増加しているが会場までの送迎の問題。高齢化により参加者数は伸びない。対象者宅を訪問し生活状況の把握ができた。より多く参加してもらえるようにしたい。
地域交流事業	12 件	納涼祭、秋まつり、菊見 会、クリスマス会、区民 交流会、日帰り研修旅 行、藤を観る会	地域住民のコミュニケーションに 大いに成果があった。子供から高齢 者まで楽しんで参加してもらえる ように継続していきたい。できるだ け多くの住民に参加してもらいた い。
児童福祉 事業	5件	子供会育成支援、子供 会への助成、新入学児 童祝い金、サマーレク リエーション	いろんな年齢の子供たちが参加し、 高学年の子が低学年の子を気にか けながら活動ができた。
環境保全 事業	1件	清掃美化活動、地区内 清掃活動	参加者が例年より少なかったが来 年も頑張りたい。
合計	83 件	助成金額合計 2,444,32	20円(会費納入総額の 18.4%)

[※]申請自治会数…69件(複数の事業を実施している自治会あり)

④自治協議会(福祉部会)や市民センターとの連携の推進

3地区の自治協議会が計画した福祉活動に助成し、市民協働のまちづくりと連携・協働した地域福祉の推進にあたった。

助成先	助成額
矢本東まちづくり協議会	70,000 円
矢本西コミュニティ協議会	70,000 円
赤井地区自治協議会	70,000 円
合計	210,000 円

⑤ふれあいのつどい事業

概ね65歳以上の独居高齢者の孤立防止と社会参加の促進を図るため、対象地域ごと3回に分け地域の民生委員等の協力により、秋保温泉「蘭亭」で開催した。(最終年度)

TE - 1-0 (VE) (1 20)					
時期	10月17日	10月25日	11月1日	参加	
対象地区	西地区	東地区	中央地区	延べ人数	
参加者	85 人	96 人	101 人	282 人	
スタッフ	14 人	15 人	13 人	42 人	
(民生委員)	(6人)	(7人)	(6人)	(19人)	
(職員)	(8人)	(8人)	(7人)	(23 人)	
合計	99 人	111 人	114 人	324 人	

前年度参加者数 250 人 (32 人增)

⑥ノーマライゼーション普及事業の実施(夏休みのつどい事業)

特別支援学級の児童・生徒と家族(保護者等)及び教育関係者らによる体験 学習や将来の進路等の参考になるような就労支援施設の見学を通じ、誰もが分 け隔てなく普通に共存できる社会を体験した。(教育委員会共催)

開催時期:7月26日

内容等: 社会福祉法人 仙萩の杜 多機能型就労支援事業所「ぴぁ」見学 仙台市八木山動物公園(見学・体験学習)

	区分	矢本東小	矢本西小	鳴瀬未来中	計
参加者数	児童・生徒	3 人	4 人	2 人	9人
(9家族)	保護者等	3 人	4 人	2 人	9人
	合計	6 人	8 人	4 人	18 人
同行者	教育委員会1人、担当教諭1人、職員3人				

⑦特別支援学級への学用品等支給事業

児童・生徒の学習支援の一環として市内特別支援学級設置校と支援団体 (あかしや会・しいのみ会・いちょうの会)が共催する行事に協賛し、学用 品等の支給を行った。

事業名	時期	支給内容
あかしや会・しいの実会・いちょうの会主催 「合同クリスマス学習会」 (会場:大曲市民センター)	12月3日	図書カード (75 人)
鳴瀬地区特別支援学級交流活動 第3回みんなの会「卒業・進級を祝う会」 (会場:鳴瀬未来中学校)	2月19日	文具セット (進級9人) (卒業5人)
あかしや会・しいの実会主催 「卒業・進級を祝う会」 (会場:赤井市民センター)	2月26日	文具セット (進級 44 人) (卒業 17 人)

⑧子ども・若者の居場所づくり支援事業

家庭や学校以外での子どもたちを育む居場所として、子ども食堂(地域食堂)を開設している団体へ相談支援等を行った。

■「ありあけだんらん食堂」(柳北地区)

開催日時:毎月第3水曜日開催 15:00 ~ 20:00

場所:柳北地区センター

支援内容:地域担当CSWが定期的に活動日に訪問をして状況の確認を 行った。また、赤い羽根共同募金等の助成金の案内を行った。

■「コープフードバンクコミュニティ―食堂」

開催日時:毎月第4十曜日 11:00 ~ 14:00

場所:みやぎ生協 東松島メンバー集会室ハーモニー

支援内容:新しく立ち上がった団体のため、地域関係者や関連する団体

に対し、運営準備の支援として開催の周知を行った。

■「野蒜みんなの食堂」

開催日時:毎週月曜日 16:00 ~ 19:00

場所: KIBOTCHA/キボッチャ(旧野蒜小学校)

支援内容:地域住民の発案から発足された団体。食材等の調達で相談を

受け、地域内で活動している野菜生産者とのマッチングを行った。

⑨情報発信力の強化

■広報誌「社協だより ふれあいねっと」の定期発行(全戸配布)

号数	発行日
第 64 号	4月1日
第 65 号	5月1日
第 66 号	6月1日
第 67 号	7月2日
第 68 号	8月1日
第 69 号	9月1日

号数	発行日
第 70 号	10月1日
第 71 号	11月1日
第 72 号	12月1日
第 73 号	1月1日
第 74 号	2月1日
第 75 号	3月1日

■東松島市社会福祉協議会ホームページ

6月からホームページをリニューアルし、社協の事業・活動やイベント等の告知、広報誌の掲載と併せ東松島市社会法人連絡会のページを設置するなど、情報発信力の強化を図った。また、災害時にはボランティア募集や関連情報の発信を行った。(http://www.hmfukushi.jp/)

⑩東松島市民生委員・児童委員との連携・協働の推進

民生委員・児童委員協議会の事務支援を通じ、社協事業・活動への協力参加を促進し、地域共生社会の実現に向けた連携の強化に努めた。

⑪各種福祉団体の事務支援

それぞれの福祉団体が目的達成に向けて、自立した活動ができるよう事務支援を行った。

■東松島市民生委員・児童委員協議会(事務・事業の支援)

民生委員・児童委員との連携強化を図るため協議会運営の支援を行った。

	4月10日 定期総会	 ①会議資料作成
	12月2日 臨時総会(役員選任)	②報告文書等の作成と発送
支援内容	定例会毎月開催(毎月10日前後)	③会議運営
	役員会(毎月)、児童専門部会(4回)、	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7
	監査会 (2回)	(金云川事物)

※ 定数 84 人 現員数 民生委員 72 人、主任児童委員 3 人

■東松島市老人クラブ連合会

構成	32 単位クラブ、会員数 1,019 人
会議の状況	総会:年1回、理事会:年2回
支援内容	①補助金の申請手続き(申請~実績報告)②会計処理③会議等の運営④スポーツ大会の運営⑤移動研修の開催(単位クラブの活動報告等) ※演芸大会・講演会は新型コロナウイルスの影響で中止

■東松島市遺族会

構成	会員数 283 人
会議の状況	代議員会(総会):年1回
玄峨ツ状化	正・副会長会議:年2回、理事会:年2回、監査会:年1回
士松中公	①会費の一時預かり②会議等の運営③戦没者追悼式典の準備
支援内容	等

■東松島市身体障害者福祉協会

構成	会員数 66 人		
会議の状況	総会:年1回、役員会:年6回、三役会議:年2回		
支援内容	①補助金の申請手続き(申請~実績報告)②会計補助③会議等		
义扳门谷	の運営④各種行事の運営⑤研修会の開催		

■東松島市介護支援すこやかクラブ

構成	会員数 48 人
会議の状況	総会:年1回、役員会:年9回、監査会1回
支援内容	①広報誌の作成②在宅介護研修会の開催③まちづくり(植栽活
又抜門谷	動) ④交通安全大会で交通指導

■東松島市共同募金委員会

構成	委員数9人
会議の状況	運営委員会:年1回
	配分委員会:年1回
支援内容	①事業運営全般②会計③募金活動(赤い羽根、歳末助け合い、
X饭门谷	災害義援金)④助成金の申請・配分

四社福法人・社協連携による「地域における公益的な取組」の推進

■「東松島市社会福祉法人連絡会」との共同による公益的な取組事業

時期	内容		
1月1日	「福祉なんでも相談窓口」の開設		
1月31日	福祉人材確保(外国人労働者)に関する好事例の研究 社会保障制度に関する政策動向について勉強会		
2月18日~ 3月13日	相談支援×集いの場「ゆったりサロン」の開催		
3月20日	東京オリンピック・パラリンピック聖火歓迎「一文字五輪づくり」		
3月25日	地域共生社会推進セミナーの開催		

※3月20、25日の事業は、新型コロナウイルスの影響で中止

③東松島ふくしネットワーク事業の実施(介護保険事業収益還元事業)

台風 19 号による災害被災地への職員応援派遣対応により中止

東松島市総合防災訓練への参加と併せ、災害時要援護者の避難・誘導や被災者の生活支援、福祉避難所や災害ボランティアセンター運営等、災害発生時において取り組むべき事項の確認と点検を行った。

開催時期:6月16日 8:30~12:30

場所:老人福祉センターほか

参加職員:全職員

実施内容:①職員参集訓練②災害対策本部設置訓練③東松島市災害対策

本部への参加④老人福祉センター来館者避難誘導・センター 被害状況確認訓練⑤福祉避難所設置訓練(避難者受入態勢確 認、備蓄品在庫確認)⑥災害ボランティアセンター設置訓練

⑤地域見守り活動の推進(住民支え合いマップ・シルバーメイト事業)

■シルバーメイト地域見守り支援事業(市補助事業)

地域住民主体の日常的な見守りを推進するため、「シルバーメイト地域見守り支援事業」の助成金交付を通じ、実施団体の組織化と活動の促進を図った。

助成先	助成金	シルバー数	メイト数
上河戸一サルビア会	35,000 円	14 人	10 人
下小松地区自治会	50,000 円	20 人	10 人
根古自治会	36,642 円	15 人	4 人
合計	121,642 円	49 人	24 人

16障害者支援とまちなか相談所の開設

とっておきの音楽祭 in 東まつしま実行委員会が主催する "音を楽しむカフェ"への運営協力を通して、まちなか相談を実施した。包括支援センターやくらし安心サポートセンターの相談員、生活支援コーディネーターが直接関わった。相談内容は石巻圏域での障害者福祉サービスや利用方法、土日の居場所やひがまつ安心サポート事業の利用方法、高齢者や障害者の交通手段の確保などの相談があった。

時期	カフェ参加者数	相談件数	開催場所
4月27日	100 人	3 件	蔵しっくパーク
5月25日	50 人	3 件	蔵しっくパーク
6月22日	70 人	なし	蔵しっくパーク
9月28日	50 人	1 件	蔵しっくパーク
10月26日	82 人	1 件	蔵しっくパーク
11月23日	80 人	1 件	蔵しっくパーク
1月25日	100 人	1 件	蔵しっくパーク
2月22日	80 人	2 件	老人福祉センター

(3) 生活支援体制整備事業(市委託業務)

①生活支援体制整備事業

■生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置 地域支え合い体制の構築のため、第1層に1人、第2層に3人(1人第 1層と兼務)生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の把握やお茶 会等集いの場の立上げ、地域での見守り活動等支援を行った。

■生活支援コーディネーター活動状況

1 個人直接支援(困っている住民へ直接かかわる)

関係形成	困っている住民との関係づくりのための訪問	49 件
個別支援	支援のための訪問、相談、状況確認	54 件
連絡調整	困っている住民との連絡調整、関係者との マッチング	59 件
	計	162 件

2 個人間接支援(困っている住民のために関係機関や団体等と相談及び調整)

関係形成	関係機関や団体等との関係づくりのための活動	49 件
個別支援	関係者との相談、研究、検討の実施	72 件
連絡調整	関係者との連絡調整、困っている住民とのマッ チング	85 件
	計	206 件

3 地域支援(通いの場づくり、話し合いの場づくり、見守り活動、自治 会支援、団体支援及び関係者との打合せ等)

関係形成	地域住民、団体・グループとの関係づくりの	251 件
	ための訪問や会議の参加及び情報の収集	231 14
立上げ支援	地域団体、グループの立ち上げの支援	75 件
運営支援	地域団体、グループの立ち上げ後の運営支援	293 件
連絡調整	関係者との連絡調整、ネットワークづくり	268 件
	計	887 件

4 その他地域に関わる活動

人材育成	支援サービスの担い手の育成、社会資源の発掘	129 件
啓発	支え合いの仕組み・制度の啓発、生活支援コーデ	135 件
合光	ィネーターのPR	155 17
協議体	協議体の運営等	145 件
一般事務	事務作業及び内部会議・打ち合わせ	190 件
研修	他地域の情報収集、視察等	92 件
その他	上記以外の活動	49 件
	計	740 件

■第1層協議体の運営及び連携

東松島市生活支援体制整備事業実施要綱に基づき、東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)とフォーラムとの開催を通じ、地域支え合いに関する住民理解の促進に努めた。

ア 東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)の開催

時期			
6月28日	・生活支援体制整備事業の進捗状況について ・東松島市地域支え合いフォーラムの開催について ・その他		

9月20日	・生活支援体制整備事業の進捗状況について
	・東松島市地域支え合いフォーラム 2019 について
	・東松島市生活支援体制整備事業の進捗状況について
2月28日	・令和2年度東松島市生活支援体制整備事業計画について
2月20日	・その他
	※新型コロナウイルスの影響により、資料送付による意見徴収

イ 啓発事業の実施

東松島市地域支え合いフォーラム 2019 の開催

住民主体の"ささえあい"活動を実践している市内団体等の活動事例を 紹介し、「支え合いの地域づくり」の普及・啓発に努めた。

開催時期:10月31日13:30~16:00

場所:矢本東市民センター

主催: 東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)

共催: 東松島市、東松島市社会福祉協議会

参加者数:220人

【内容等】

第1部 基調講演

「誰もが取り組める社会参加と介護予防~本当の意味での支え合い~」 講 師: 東北文化学園大学 教授 野﨑瑞樹氏

第2部 ポスターセッション

市内で地域活動を行っている団体から、地域活動のヒントを得るこ とを目的に10団体の活動をそれぞれの団体がポスターで紹介を行っ た。

参加団体

- ①とっておきの音楽祭in東まつしま実行委員会 ②作田浦楽楽会
- ③六槍なかよし会 ④やもと赤井の里 ⑤新道町内会自治会

- ⑥あおい見守り部会 ⑦あおい農園
- ⑧大曲地区自治会

- ⑨大溜ひばり会 ⑩野菜っこクラブ

ウその他

- ・「生活支援体制整備事業啓発パンフレット」を作成し、全世帯へ配布 した。
- ・商工会会員事業所の協力により、「東松島市高齢者を支える地域資源 一覧」の冊子を作成し、自治会長、民生委員・児童委員、介護支援専 門員等に配布・情報の提供を行った。
- ・社協だより「ふれあいねっと」にて地域のサロン紹介や、協議体の活 動紹介を行い体制整備事業の啓発に努めた。

■第2層協議体の運営・連携

市内地域活動圏域(8自治協エリア)において、協議体設置に向けた 支援に取り組んだ。今年度については前年度から活動を行っている赤 井、大曲、野蒜の3地域の協議体の運営を支援したほか、大塩、矢本東 の2地域において協議体準備会を設置し今後の進め方について協議中。 その他の地域においては、まちづくり協議会と連携しながら今後の進め 方について検討していく予定。

- ■生活支援体制整備事業連携協力金の交付(5地域 総額1,260,000円)
 - ①赤井地域 300,000 円②大曲地域 240,000 円③矢本東地域 300,000 円
 - ④大塩地域 210,000 円⑤野蒜地域 210,000 円

<会議等の開催状況>

1 赤井地域

開催回数:4月~3月まで9回

協議体の構成員:自治会長、民生委員・児童委員、自治協議会福祉部

会員、施設関係者、住民ボランティア、地区推進員、

市民センター担当職員(構成員数13人)

協議体の名称:「おせっ会」

会議等の内容:地域活動の共有及び地域活動の啓発方法について協議

2 大曲地域

開催回数:4月~3月まで12回

※3月開催時は新型コロナウイルスの影響により書面にて共有

協議体の構成員:アットホーム大曲安心づくり事業部部会員

(構成員数 12 人)

会議等の内容: 大曲版コミュニティビジネス検討委員会安心づくり事

業部の話し合いへ参加。安心づくり事業部の協議を経て、

第2層協議体として位置付けする。地域の見守り活動や

地域資源の啓発について協議

3 野蒜地域

開催回数:8月~3月まで5回

協議体の構成員:まちづくり協議会役員、施設関係者2人、サロン活

動代表者、民生委員・児童委員、地域ボランティア

市民センター職員(構成員数14人)

会議等の内容: 社会参加、介護予防、生活支援を柱に地域での活動に

ついての情報を共有

4 矢本東地域(準備会)

開催回数: 12月~3月まで2回

協議体の構成員:まちづくり協議会役員、介護事業所関係者、サロン

活動代表者、民生委員・児童委員、地域ボランティア、

市民センター職員(構成員数6人)

会議等の内容: 地域包括ケアシステムと生活支援体制整備事業につい

て共有

5 大塩地域

開催回数:10月~3月まで4回

協議体の構成員:自治会役員、介護事業所関係者、サロン活動代表者、

民生委員・児童委員、地域ボランティア、市民センタ

一職員(構成員数16人)

会議等の内容:地域課題についての共有と移動支援に係る研修会の開催

※その他地域自治組織について

- ・小野地域、9月29日地域支え合い研修会を実施。
- ・矢本西地域、宮戸地域については、今後も継続してまちづくり協議会 と調整しながら進めていく予定

(4) 共同募金事業 (共同募金配分金による事業)

①東松島市共同募金委員会の運営

委員会の事務局を担うとともに、共同募金運動の啓発と地域の福祉活動を推進するための民間資金の確保に努めた。

■赤い羽根共同募金実績

戸別募金	個人	学校募金	イベント募金	その他募金	合計
4,226,252 円	10,000 円	34,866 円	35, 246 円	15,776 円	4, 322, 140 円

■災害義援金募金実績

募金の目的(募金期間)	募金の形態	送金額
令和元年9月佐賀県大雨災害義援金 募金(9月2日~2月28日)	募金箱設置(市民センタ ー・老人福祉センター)	135, 325 円
台風 15 号災害義援金募金 (千葉県) (9 月 17 日~3 月 31 日)	募金箱設置(老人福祉センター・商 とのくパーク)街頭募金	165, 254 円
台風 19 号災害義援金募金(宮城県) (10 月 18 日~3 月 31 日)	募金箱設置(老人福祉セン ター・各市民センター)	489, 246 円

■宮城県共同募金会県域配分

●事 業 名:住民支え合い活動助成事業

配分内容: 49 団体 2, 434, 000 円

	団体名	事業名	金額
1	ハッピースマイル	地域交流事業	50,000
2	中自治会おちゃっこ飲みの会	中自治会お茶っこ飲み会	50,000
3	もみじ会	お茶飲み会・交流会	50,000
4	1. 5会	健康づくり支援事業	50,000
5	いきいき11期会	福祉施設慰問	44,000
6	鳴瀬鼓心太鼓	和太鼓演奏会・慰問活動	50,000
7	東松島市書道協会	児童生徒書道展	50,000
8	大曲ふれあい太鼓	ふれあい太鼓	50,000
9	下浦自治会	サロン活動	50,000
10	赤井楽園 PG 愛好会	住民交流事業	50,000
11	東松島市パークゴルフ協会	パークゴルフ大会	50,000
12	柳西区はまなす会	住民交流事業	50,000
13	下町えがお会	お茶飲み会	50,000
14	川前集会所運営協議会	いきいき楽習塾	50,000
15	東大溜ふれ愛喫茶	サロン事業	50,000
16	大曲融和会	社会奉仕活動	50,000
17	塩入いきいきホットサロン	サロン活動	50,000

18	赤井フレンドリー	地域交流事業	50,000
19	南区新町月曜サロン	地域交流事業	50,000
20	なないろの会	サロン活動	50,000
21	下区自治会	ふれあい運動会	50,000
22	下町一自治会お茶っこ会	下町一自治会お茶っこ会	50,000
23	作田浦自治会	いきいき百歳体操	40,000
24	上河戸一サルビア会	お茶っこ飲み会	50,000
25	笑飲会	ストリートイルミネーション	50,000
26	東大溜悠遊クラブ	サロン・見守り・訪問活動	50,000
27	友遊サロン	サロン事業	50,000
28	下区ボランティアコスモス会	サロン事業	50,000
29	小松台自治会	秋祭り・文化祭	50,000
30	柳区自治会	サロン活動	50,000
31	健康マージャン愛好会	麻雀サロン・卓球	50,000
32	アクション・スクエア	地区落語会	50,000
33	大曲粋生クラブ	サロン活動	50,000
34	下町二区・五区自治会	サロン活動	50,000
35	あじさい会ふれあいサロン	サロン活動	50,000
36	笑母倶楽部会	サロン活動	50,000
37	関の内三自治会	植栽とサロン活動	50,000
38	ほっとサークル	サロン活動	50,000
39	小松南住宅シニアクラブ	サロン活動	50,000
40	南区和幸会	サロン活動	50,000
41	南西地区自治会	サロン活動	50,000
42	みんなんちクラブ	サロン活動	50,000
43	亀岡地区自治会	亀岡夏祭り	50,000
44	のびる多面的機能自治会	夏祭り	50,000
45	奥松島産業振興協議会	奥松島地域連携交流事業	50,000
46	楽楽会	高齢者等地域見守り事業	50,000
47	横沼地区自治会	住民交流事業	50,000
48	野菜っこクラブ	野菜っこクラブサロン	50,000
49	あおい三丁目地区自治会	三丁目秋祭り 芋煮会	50,000

●事 業 名:住民力・地域力・福祉力を高める支援事業 配分内容:5団体 702,000円

	団体名	事業名	金額
1	ひがしまつしま サンフラワー	復興10年復興支援 ふれあい大芸能祭り	180, 000
2	一般社団法人 美馬森Japan	浜辺で「馬とのふれあい ハイキング」	99, 000
3	大溜ひばり会	大溜「健康づくり教室」	63,000
4	NPO法人 いろどり・みんなのみち	着物deサロン	180, 000
5	チーム水平線	演劇を通した生きがいづくり	180,000

●事業名:町内会テント配分事業

配分内容:5 自治会へ名入れテント配分 各170,000 円相当 配分 先:立沼地区自治会、下町三自治会、浅井地区自治会

前里自治会、西福田地区自治会

●事業名:小規模災害見舞金

配分内容:火事見舞(全焼30,000円×2件)

②共同募金一般配分事業の実施

共同募金の配分金を活用し、募金運動の啓発と地域において福祉活動を展開している民間福祉団体等への財政支援を行った。

■市町村募金按分処理に係る配分事業

	「音無美紀子の歌声喫茶」開催		
サーセングチ	※詳細は4.被災者支援事業拠点区分(1)被災者サポート		
老人福祉活動	センター運営事業③復興福祉のまちづくり事業に掲載		
	百歳体操支援団体助成金 (サポータクラブ 「虹」200,000円)		
陸宝田 (孝)	活動支援団体への助成金配分		
障害児(者) 福祉活動	30,000 円×2 団体(身体障害者福祉協会、視覚障害者福祉協会)		
1曲位16世	30,000 円×4 団体(共生園、ぎんの星、てあわせ表現東松島、くるり)		
児童・青少年	市内小中学校児童への啓発運動		
福祉活動	赤い羽根ポスターコンクール 児童生徒 32 人応募		
災害ボランテ	発電機用バッテリー		
ィア支援	備蓄食料の整備		

③総合的学習支援事業の実施

家庭や学校外での地域社会とのつながりを意識し、地域資源を活用した体験学習を通じ、自分たちの暮らしの中にある地域との結びつきを感じてもらう活動に助成した。(助成上限額1校40,000円)

助成先	助成額	事業概要
		3年生 みんなにやさしい町
 矢本東小学校	40,000 円	4年生 レッツゴー!矢本うまいもの探検隊
八个宋八十汉	40,000 1	5年生 きれいな町にするために
		6年生 東松島市の良さを発信しよう
		3年生 レッツゴーうまいものたんけんた
大曲小学校	40,000 円	V
		4年生 ふるさと博士になろう
 大塩小学校	40,000 円	3年生 名人にちょうせん! (大豆編)
八鱼八十仅	40,000 1	5年生 大塩ブランド米をつくろう
 赤井南小学校	40,000 円	5年生 米作りを体験しよう
が开用力・子校 	40,000 1	6年生 学ぼう 伝えよう 南小の伝統
 鳴瀬桜華小学校	40,000 円	5年生 東松島の食 大発見!
"杨枫妆 举力 '子仪	40,000 1	3年生 盲導犬にふれあおう(福祉教育)
 宮野森小学校	40,000 円	6年生 ふるさと宮野森
当却林小 十 似	40,000 □	中学年 ふるさとの山や海に親しもう
矢本第一中学校	40,000 円	2年生 職場体験学習

矢本第二中学校	36, 645 円	地域の人の話を聞く会 職場体験学習
合計	316,645 円	

④ボランティア登録団体助成事業の実施

ボランティア登録団体の活性化と活動しやすい環境づくりを推進するため、共同募金配分金を活用し、ボランティア活動に要する事業費を助成した。(助成上限額1団体20,000円)

- · 高齢者支援団体 7団体
- ・芸能ボランティア団体 7団体
- · 学習団体 5 団体
- ・子ども支援及び障害者支援団体 8団体(合計27団体540,000円)

⑤歳末たすけあい配分事業

関係機関や関係団体の協力のもと募金活動を展開し、新たな年を迎える時期に支援を必要とする対象者(団体)に対し、食料や見舞金として支給した。

■歳末たすけあい募金実績

個人	法人募金	イベント 募金	団体募金	学校募金	その他 募金	
49,000円	100,000円	24, 167 円	148,690円	30,969円	174 円	353,000 円

■歳末たすけあい募金配分委員会の開催

開催時期:12月17日

出席者:配分委員会委員5人

内 容:歳末たすけあい募金の配分について

■歳末たすけあい募金の配分

歳末たすけあい配分委員会の審査により、下記の市内の子ども支援団体や生活 困窮者世帯に対し、食料品及び歳末見舞金を配分した。

<u> </u>							
配分先		配分額					
		みんなの家 (ボウリングイベント費) 46,857円					
子ども支援団体	5 か所	こどもの広場 10,000円					
		こども食堂地域食堂支援(3 か所)各 10,000 円					
生活に課題のある世帯	24 世帯	各 10,000 円の歳末見舞金					
士極単処の人	りみごに	あかしや会、しいのみ会、いちょうの会					
支援学級の会	3 か所	各 10,000 円					

(5) ボランティアセンター事業

①地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくり

■ボランティア講座の開催

地域福祉活動やボランティア活動への住民参加を促進するため、講座 の参加者を募集した。**※新型コロナウイルスの影響で中止**

■市民による被災地支援ボランティア活動

令和元年台風 19 号による大雨で甚大な被害を受けた宮城県丸森町へボランティアバスを運行し、支援活動を実施した。

開催時期:12月7日(土) 参加人数:30人

募集方法:市内の各新聞店を通じて全戸にチラシを配布

②ボランティア・市民活動センター機能の充実

■キャップハンディ体験教室の開催

市内の小学校及び地域を対象に、車椅子や白杖などの福祉用具を使い、障がいによる不自由さを理解してもらうための福祉教育活動を行った。

時期	場所	学年	児童数	内容	福祉教 育サポ			
					ーター			
7月9日	矢本東	3年	69 人	福祉の基礎知識と心構え				
1月9日	小学校	3 +	09 人	車椅子・白杖体験				
11 日 10 日	赤井南	3年	47 人	福祉の基礎知識と心構え	1 Å			
11月12日	小学校	3 4	47 人	車椅子・白杖体験	1人			
1 日 04 日	鳴瀬桜華	4年	4G	福祉の基礎知識と心構え				
1月24日	小学校	4 +	46 人	車椅子・白杖体験				
о Н 10 П	矢本西	1 Æ		視覚障がい当事者の講話	2 1			
2月19日	小学校	4年	54 人	点字体験	3 人			

■ボランティアセンター登録状況

ア 個人ボランティア 17 人 (前年度比+6人)

イ ボランティア団体

団体の種類	団体数	所属人数	前年周	度比較
高齢者支援団体	9 団体	119人		△6 人
高齢者支援(芸能団体)	18 団体	157 人	+1 団体	+14 人
学習支援団体	5 団体	32 人		△2 人
子ども・障害者支援団体	5 団体	83 人	△1 団体	△16 人
スポーツ支援団体	1 団体	16 人	△1 団体	△18 人
その他	10 団体	117人	+6 団体	+78 人
合計	48 団体	524 人	+5 団体	+50 人

■ボランティア保険取扱状況

保険の種類	申込件数	人数	事故件数
ボランティア保険	107 件	896 人	2 件
ボランティア行事保険	71 件	4,070 人	0 件
いきいきふれあいサロン保険	0 件	0 人	0 件

■ボランティア派遣の状況

種類	回数	概 要
子育て関係	67 回	乳幼児健診や子育て研修時の一時預かり、小学 校での福祉教育等
サロン支援	26 回	サロン・お茶会・地区敬老会時の演芸披露等
その他	4 回	老福センター事業「湯楽里」、兵庫お掃除ボラ

③生活支援ボランティア活動の事業推進(ひがまつあんしんサポート事業)

高齢者等の日常生活上のちょっとした困りごとに対応するため、支援を必要とする市民(利用会員)とその支援を行う市民(協力会員)による住民主体の福祉サービス(有償助け合いサービス)を実施した。

会員登録者数(3月末日現在)

		性	別	在住地区別人数							
会員種別	登録人数	男	女	矢本東	矢本西	大塩	赤井	大曲	小野	野蒜	宮戸
利用会員	63 人 (+41)	22	41	22	8	6	15	4	4	2	2
協力会員	25 人 (±0)	6	19	5	0	1	6	2	8	3	0

※() 内は前年度との対比

活動実績の内容

						活	動件	数					
サービス内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
②衣類等の洗濯											3		3
③住居等の掃除 ・整理整頓	4	3	4	4	4	4	7	8	18	1	4		61
⑤庭の草取り	7	13	6	13	2	9	9	1	14		1	3	78
⑦買い物代行	1		1	1	1	4				2	2	2	14
⑧通院や外出時の付添					1								1
⑨話し相手	9	22	20	22	20	18	15						126
⑩ゴミの分別・ゴミ出し	6	8	9	10	8	8	7	7	9	7	11	12	102
合計	27	46	40	50	36	43	38	16	41	10	21	17	385

利用(活動)時間 358時間42分 / 利用(活動)金額 224, 100円

- ・利用がなかったサービス内容:①食事の仕度 ④電球・電池交換
 - ⑥布団干し ⑪灯油入れ ⑫コメの精米 ⑬電化製品の簡単な操作

依頼の多かった主なサービス内容

区域の多位とこれ これ 日本						
	件数	主なサービス内容				
③住居の掃除	61 件	怪我をしてしまった時の一時的なものや、年末の掃				
③住店の帰床	01 17	除等で自分ではできない高所の依頼があった。				
⑤庭の草取り	70 (4	春から秋にかけて依頼が集中。作業する場所が広				
り姓の早取り	78 件	く、数回にわけて行ったケースもあった。				
⑦買い物代行	14 件	食料品や日用品の買い物や、体調不良時の一時的な				
		依頼もあった。				
○ 新〕 扣手	126 件	特定の利用会員ではあったが、毎日の見守りを兼ね				
⑨話し相手	120 14	ての依頼であったため、件数が多くなった。				
⑩ゴミ出し	102 件	年間を通じての定期的な依頼で、月に 2~3 回程度				
	102 14	の割合の利用者が多い。				

(6) 老人福祉センター運営事業(市委託業務)

①東松島市老人福祉センターの指定管理

■部屋別利用状況

1117227011	ם מיז עיינו עני	
区分	利用者 延べ人数	主な利用団体等
集会室	2,778 人	・福祉団体総会、役員会、会議等・ボランティア団体会議等・老人一般事業各種教室開催・各種研修会等・機能回復訓練(第2・4 火曜日)・健康体操、もの忘れ予防教室ほか
生活相談室	95 人	・生活安定資金、生活福祉資金貸付相談等 ・健康相談 ・福祉団体役員会、ボランティア団体打合せ等ほか
和室	955 人	・囲碁将棋のつどい(毎木曜日) ・福祉団体会議等・ボランティア団体会議等 ・もの忘れ予防教室・介護家族の交流会ほか
浴室	67 人	・湯楽里の開催時に一般開放
ロビー	8人	・福祉団体打合せ
合計	3,903 人	

■機能回復訓練事業

登録参加者数7人・介助ボランティア7人・毎月第2.4火曜日開催

時期	内容(第2週)	人数	内容(第4週)	人数
4 月	自主訓練	7人	お花見 (登米市)	9人
5月	作品作り	6人	シャンソンショー	14 人
6月	ちぎり絵塗り絵	7人	花の寄せ植え	7人
7月	人形劇	7人	ものづくり	7人
8月	休み		自主訓練	5 人
9月	自主訓練	6人	レクリエーション	7人
10月	社会見学(市内・石巻・美里町)	6人	休み	
11月	自主訓練	7人	りんご狩り	9人
12月	リースづくり	5人	休み	
1月	自主訓練	4 人	ボランティア交流会 (見学者2人)	8人
2月	ひなまつり飾り作り	4 人	休み	
3月	3月 ※新型コロナウイルスの影響で中止			
			合計	125 人

■老人一般活動事業

高齢者の教養を向上させるため、各種教室を開催

	講師	ふっくら布ぞうりの会 後藤 祐子 氏	
 布ぞうり教室	内容	ふっくら布ぞうりの製作	
仰て	時期	8月23日	
	参加人数	20 人	

	講師	たかのDIYスタジオ たかの ひろみ 氏
	内容	「ガーデンボックスの製作」と「秋の住まいの点
DIY講座	内谷	検と補修」
	時期	10月18日
	参加人数	10 人
	講師	健康運動指導士 笠 安子 氏
ヨガ教室	内容	『初心者のやさしいヨガ教室』
コル教主	時期	10月10日・11月14日・12月12日
	参加人数	計 29 名

■高齢者のための健康相談及び健康体操の開催

【開催の状況】健康相談:毎週月曜日、健康体操:毎月第1月曜日

時期	回数	人数
4月	4 回	6 人
5月	3 回	9 人
6月	5 回	43 人
7月	5 回	42 人
8月	3 回	26 人
9月	4 回	26 人

時期	回数	人数
10 月	3 回	22 人
11月	3 回	15 人
12 月	5 回	27 人
1月	3 回	26 人
2月	3 回	17 人
3月	0 回	0人

合計 41回 259人

②老人福祉センター運営事業(いったりかったりサロン事業・お休み処「湯楽里」)

引きこもりがちな高齢者等が、潤いのある時間を過ごせるよう「気兼ねなく 集える場」を企画し、社協の自主事業として展開した。

(※介護関連事業収益を活用した地域福祉貢献事業)

■いったりかったりサロンの開催

- ・11月23日 「音無美紀子の歌声喫茶」として開催(老人福祉センター)
 - *4. 被災者支援事業拠点区分(1) 被災者サポートセンター運営事業 ③復興福祉のまちづくり事業に掲載

■お休み処『湯楽里』の開催(月1回)

時期 毎月第3水曜日10:00~16:00

内容 各種映画上映会、昼食提供(カレーライス)、入浴施設の開放等

時期	人数
5月15日	57 人
6月19日	57 人
7月17日	55 人
9月18日	60 人

時期	人数
10月17日	63 人
11月23日	100 人
12月18日	51 人
1月15日	50 人

合計 8回 493人

※2,3月は、新型コロナウイルスの影響で中止

(7) 高齢者生活支援事業(市委託業務)

①外出支援移送サービスの実施

家庭及び公共交通機関を利用することが困難な在宅高齢者及び身体障害者等を対象に、移送用車両を利用し、自宅から受診先への交通手段の確保を図った。

■稼動状況

- ・登録者数 4人
- · 稼働回数 54 回
- ・走行距離 299.2Km

2. 総合相談事業拠点区分

- (1) 生活困窮者自立促進支援事業(市委託業務)
 - ①自立相談支援事業と②家計相談支援事業

■相談支援概況

新規相談受付	105 件		
新規相談申記	97 件		
支援決定・研	31 件		
プラン期間「	プラン期間中の一般就労を目標にしている		
	住居確保給付金	0 件	
事法	一時生活支援事業	0 件	
業等利	家計相談支援事業	7件	
新 本 利 づ	就労準備事業	0 件	
用く	認定就労訓練事業	0 件	
	自立相談支援事業による就労支援	0 件	
その他	生活福祉資金・生活安定資金による貸付	10 件	
て (7)他	生活保護受給者等就労自立促進事業	2 件	
評価実施件数	評価実施件数(再プランを含む)		
⇒ π /π•	終結	16 件	
評価 結果	再プランして継続	0 件	
がロンド	中断	0 件	
見られた	変化あり	16 件	
変化	変化なし	0 件	
評価実施件数中、一般就労を目標		13 件	
うち 一般就労開始を達成		1 件	

■相談経路 ※複数選択

①来談者 ※複数選択

+□ ⇒k ◊▽ □⁄2	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
相談経路	合計	比率	合計	比率	合計	比率
本人	55	63%	55	65%	72	69%
家族・知人	3	3%	13	15%	9	9%
関係者	31	35%	22	26%	30	29%
合計 (実人数)	88	100%	84	100%	105	100%

②面談の場所・方法

相談経路	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
1	合計	比率	合計	比率	合計	比率
直接来所	59	67%	70	83%	74	70%
電話・メール	27	31%	26	31%	26	25%
自宅	5	6%	2	2%	14	13%
関係先	3	3%	1	1%	3	3%
合計 (実人数)	88	100%	84	100%	105	100%

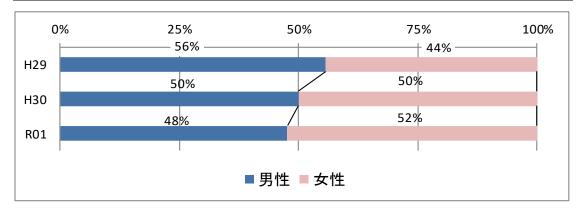
③相談のきっかけ

相談経路	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
作談腔始	合計	比率	合計	比率	合計	比率
自立相談支援機関がアウトリーチ	13	15%	1	1%	5	5%
紹介	20	23%	23	27%	29	28%
国、自治体、自立相談支援機関等の周知	54	61%	60	71%	63	60%
その他	1	1%	0	0%	9	9%
合計 (実人数)	88	100%	84	100%	105	100%

- ・市内各所へのチラシやカードの設置することによる相談窓口の周知や連携先の関係機関から相談者への情報提供により、本人が直接相談に来るケースが多くなっている。
- ・つなぎ元の関係機関と初回から同行訪問するケース等があるため、自宅での初回面談が増えてきている。

■性別

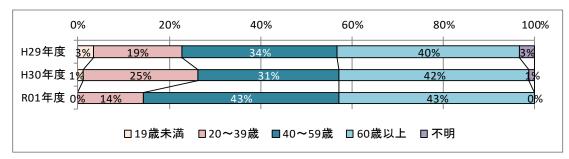
	平成29年度		平成29年度 平成30年度		令和元年	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	49	56%	42	50%	50	48%
女性	39	44%	42	50%	55	52%
合計	88	100%	84	100%	105	100%



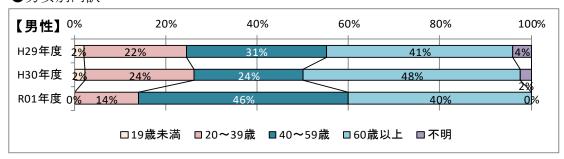
・相談者の男女比については、女性の比率が若干高く、そのうち母子家庭 と高齢者の相談が比較的多くみられた。

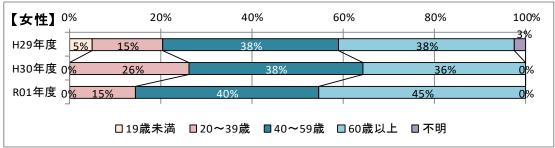
■年齢別

左脸	年齢 平成29年度		平成3	0年度	令和元年度		
一一图中	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
19歳未満	3	3%	1	1%		0%	
20~39歳	17	19%	21	25%	15	14%	
40~59歳	30	34%	26	31%	45	43%	
60歳以上	35	40%	35	42%	45	43%	
不明	3	3%	1	1%		0%	
合計	88	100%	84	100%	105	100%	



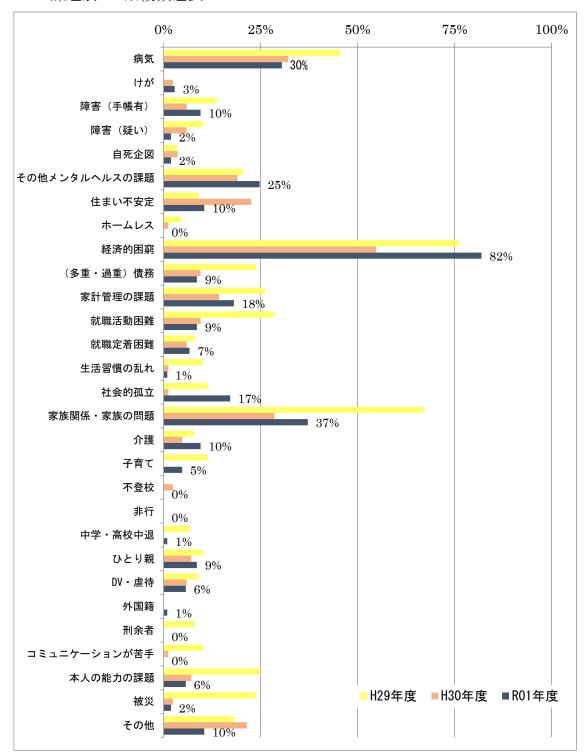
●男女別内訳





- ・男性については、40~59歳の相談者が多くなってきており、半数近くを 占めている。(病気による離職や転職等の相談が多くみられた)
- ・女性については、60歳以上の相談者が多くなってきている。地域包括支援センターとの連携が進んだことが要因となっている。

■課題別 ※複数選択



・令和元年度は、「経済的困窮」のほか、「家族関係・家族の問題」、「病気」、「メンタルヘルスの問題」等の課題を抱えた相談者の比率が大きかった。 これらの相談者の多くに社会的孤立の状態が見られた。

■プランの実施に係る関係機関・関係者

① 就労

関係機関・関係者	H29	H30	R01
ハローワーク	5	5	4
職業訓練所	0	0	0
就労準備支援機関	1	0	0
地域若者サポートステーション	1	0	0
就労支援法人・団体(就労訓練事業を含む)	2	2	0
一般企業	1	1	1
各種協同組合(生協等)	0	0	0
農業者・農業団体	0	0	0
合計	10	8	5

② 医療

関係機関・関係者	H29	H30	R01
医療機関	8	17	11
医療機関の内、無料低額診療実施機関	0	0	0
行政の保健担当部署	7	16	11
合計	15	33	22

③ 障害

関係機関・関係者	H29	H30	R01
行政の障害担当部署	1	6	5
基幹相談支援センター	0	0	0
精神保健福祉センター	0	0	0
障害者就業・生活支援センター	0	1	0
障害者就労支援事業所	0	2	3
その他障害者支援機関・施設	4	8	3
合計	5	17	11

④ 高齢

関係機関・関係者	H29	H30	R01
行政の高齢者担当部署	6	8	3
地域包括支援センター	8	14	10
居宅介護支援事業所・その他介護事業所	5	6	2
合計	19	28	15

⑤ 子ども

関係機関・関係者	H29	H30	R01
行政の子ども家庭担当部署	2	3	1
教育委員会	0	1	1
保育所・幼稚園・子ども園	0	0	0

小・中・高(特別支援含む)学校	0	0	0
大学等(高等専門学校、専修学校、各種学校含む)	0	0	0
その他教育機関	0	0	0
家庭児童相談室(福祉事務所)	0	0	0
児童相談所・児童家庭支援センター	0	0	0
児童福祉施設	0	0	0
地域子育て支援センター	0	0	0
その他子育て支援機関	0	0	0
合計	2	4	2

⑥ 人権・女性

関係機関・関係者	H29	H30	R01
行政の人権担当部署	1	0	0
男女共同参画センター	0	0	0
婦人相談所・配偶者暴力相談支援センター	0	1	0
合計	1	1	0

⑦ 保護

関係機関・関係者	H29	H30	R01
福祉事務所 (生活保護担当部署)	6	10	8
ホームレス支援機関	0	0	0
一時保護施設	2	2	3
歡察	5	4	3
更生保護施設・自立準備ホーム	0	0	0
地域生活定着支援センター	0	0	0
合計	13	16	14

⑧ 生活・金銭・権利擁護

関係機関・関係者	H29	H30	R01
行政の税担当部署	4	6	5
行政の保険・年金担当部署(年金事務所含む)	1	0	2
社会保険労務士	0	0	0
自立・家計改善支援機関	19	31	29
食糧支援関係団体(フードバンク等)	9	20	16
小口貸付(生活福祉資金除く)	14	19	10
社会福祉協議会(生活福祉資金)	0	0	0
社会福祉協議会(日常生活自立支援事業)	1	3	4
成年後見人制度の支援機関	1	1	1
法テラス・弁護士・司法書士	6	6	8
消費生活センター・消費生活相談窓口・多重債務者等相談	0	0	3
窓口			
合計	68	102	92

9 住居

関係機関・関係者	H29	H30	R01
行政の住宅施策担当部局 (居住支援協議会)	4	11	5
居住支援法人	0	0	0
不動産・保証関係会社	2	11	8
合計	6	22	13

① その他

関係機関・関係者	H29	H30	R01
他地域の生活困窮者自立相談支援機関	0	0	0
民生委員・児童委員	17	20	11
外国人支援団体・相談窓口	0	0	0
ひきこもり支援機関	0	0	0
NPO・ボランティア団体	2	1	2
商店街・商工会等経済団体	0	0	0
町内会・自治会、福祉委員、近隣住民	5	5	4
ライフライン民間事業者(電気・ガス・水道)	0	1	0
保健所 (動物・ペットの多頭飼育等)	0	0	0
社会福祉協議会(資金、日常生活自立支援以外)	0	1	2
その他行政の担当部署	3	6	0
家族・親族・その他キーパーソン	6	21	17
その他	6	1	1
合計	39	56	37

- ・令和元年度は、生活保護に繋ぐケース(プランに出来ないケース)が多く、そのためプランに基づいて関係機関と連携する件数が前年度と比較して少なかった。しかし、プラン作成の有無に関わらず、生活保護に繋いだ後も、生活保護のケースワーカーと連携して支援に取り組んだ。(住居や地域との関わり、多機関との連携したケース等)
- ・東部エリアについては、東部地域包括センターと週に1度共有を含めた ケース検討会議を開催し、連携した支援を行っているのに対し、西部エ リアについては、西部地域包括支援センターと連携した支援が少なかっ た。定期的な情報共有会議の開催等を通じて連携強化を図ることが課題 となっている。
- ・また、連携先が比較的固定化している傾向があるため、福祉以外の分野 を含め、より多様な機関との連携を進めることが課題となっている。

■自立支援の主な内容

■日立又扱の主などが	支援内容
	・生活保護受給者等就労自立促進事業の活用
	・自立相談支援機関による就労支援
	(求人情報の提供、今後の生活についての相談支援、ハ
①就労支援	ローワークへの同行、履歴書の作成指導、個別求人開
	拓、面接対策)
	・就労訓練機関(石巻市内)との連携による就労体験の
	実施
	・家計収支の均衡が取れていない生活困窮者に対して、
	家計表を活用し、家計の状況を「見える化」し、家計
 ②家計相談支援	管理の意欲を引き出す取り組み
○ 外 □ / □ 欧 × 1反	・税等の滞納者に対する分納計画の作成支援、収納対
	策課への同行支援
	・弁護士と連携した債務整理の支援
	・家計診断により、一時的に必要な資金の額や償還の
③生活安定資金等	見通しを考慮した有効な貸付を行い、家計の自立を
の貸付事業との	促進
連携	・償還完了までの伴走型支援
	(償還時に面談を行い、生活状況を把握)
	・車上生活や家族関係の問題、債務整理等に伴う住居
④住居確保	喪失等の問題を抱える相談者に対する住居確保支援
	(不動産情報や下宿情報の提供・同行等)
	・保健師等との連携による自殺のおそれがある相談者
	に対する精神的なケア
	・地域包括支援センターや地域の介護事業者等と連携
⑤社会的孤立等へ	した高齢者及び養護者世帯の見守り
の対応	・フードバンクの活用による食糧支援
^ > \/1\/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	・犯罪行為への関与を強要されている疑いがあり、金
	銭搾取され、自殺リスクのある生活困窮者への支援
	(保健師、精神保健福祉士、弁護士、警察、建設課、
	収納対策課、雇用主等との連携)

■制度理解の促進と関係機関との連携促進のための取り組み等

時期	関係機関	内容
5月29日	ハローワーク等	石巻地域生活保護受給者等就労自立促進 事業協議会にて意見交換
9月6日	フードバンク石巻	食糧支援の連携と災害公営住宅への訪問 活動について
12月18日	新生銀行	(株)新生銀行・NPO 法人育て上げネット 共同事業・金銭教育プログラム「MONEY CONNECTION (マネーコネクション)」の東松 島市での実施について
1月15日	日本カーシェアリング 協会	地域及び個別の利用についての連携について
2月12日	やもとケアマネネットワーク	東松島市内(一部石巻市)のケアマネジャーのネットワーク会議にて制度説明・ 事例紹介と今後の連携について
月1回	東松島市生涯現役促進 地域連携事業推進協議 会	高齢者の就業機会の確保について

■従事者養成研修等の受講状況

自立相談支援事業従事者養成研修(厚生労働省)

受講対象	受講者	期間(前期)	期間(後期)
相談支援員	富沢久美子	7月29日~7月31日	10月17日~10月19日

その他 (主なもの)

研修等	受講者	期間・場所
第 56 回社会福祉セミナー	及川貴之	7月5日 有楽町朝日ホール
生活困窮者自立支援全国研究交流大会	及川貴之 宮田真衣 浅野恵美 富沢久美子	11月3日~11月4日 東北福祉大学
引きこもり研修	宮田真衣	1月17日 ハーネル仙台
自立支援従事者研修	及川貴之 宮田真衣	2月18日 TKPガーデンシティ

(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業(市委託業務)

- ①多機関の協働による包括的支援体制構築事業
- 1. 相談者等に対する支援の実施
- (1) 相談受付状況

		年間
新規相談受付件数		58
継続相談受付件数		10
	合計	68

(2) 支援実施延べ回数

相談内容	新規	継続	年間
電話相談・連絡	52	84	136
訪問・同行支援	9	19	28
面談	11	21	32
所内会議	0	1	1
他機関との会議	32	31	63
他機関との電話照会・協議	10	7	17
その他	1	11	12
合計	115	174	289

※その他…民生委員からの地域情報の収集、公共料金滞納分の支払い代行、 銀行での金銭の引き出し、入院費の支払い代行、介護認定調査同席等

(3) 相談経路

	新規	継続	年間
本人(来所)	0	0	0
本人(電話・メール)	0	0	0
家族・知人(来所)	3	0	3
家族・知人(電話・メール)	0	2	2
相談支援包括化推進員が把握	1	0	1
関係機関・関係者紹介	42	11	53
その他	3	0	3
合計	49	13	62

[※]その他…住民、自治会長、民生委員

※相談経路としては、関係機関からの紹介が多く、解決困難なケースを抱えていることが把握できた。

(4) 主な相談領域

領域	新規	継続	年間
子供	1	0	1
障害者	6	1	7
高齢者	33	5	38
母子・父子	3	0	3
外国人	0	0	0
その他	11	2	13
合計	54	8	62

※その他…一般、精神障害の疑い、介護保険第2号保険者、8050世帯等

(5) 相談内容(複数選択)

相談内容	新規	継続	年間
病気や健康、障害のこと	20	2	22
住まいについて	6	1	7
収入・生活費のこと	17	3	20
家賃やローンの支払いのこと	4	0	4
税金や公共料金等の支払いについて	6	1	7
債務について	1	1	2
仕事探し、就職について	1	0	1
地域との関係について	10	2	12
家族との関係について	3	1	4
介護のこと	5	0	5
ひきこもり・不登校	1	0	1
DV・虐待	2	0	2
その他	22	7	29
合計	98	18	116

[※]その他…安否確認ができない、住環境の問題(ごみ屋敷等)、世帯の精神疾患の疑い、金銭管理、施設への苦情、保証人のなり手等

(6) 支援機関等への連携

連携先	新規	継続	年間
子育て支援課	0	0	0
健康推進課	10	9	19
高齢障害支援課	4	11	15
障がい者相談支援事業所	9	11	20
地域包括支援センター	33	25	58
くらし安心サポートセンター	27	30	57
医療機関	5	17	22
その他	63	74	137
合計	151	177	328

[※]その他…ケアマネ、介護事業所、まもりーぶ、民生委員、自治会長、行政等

2. 地域における相談支援機関等との連携体制の構築

(1) 個別ケース会議の開催・参加状況

		年間回数
個別ケース会議	開催	21 回
個別ケース会議	参加	36 回
	合計	57 回

※個別ケース会議を開催した内容としては、多問題を抱えている世帯やごみ 屋敷、8050 問題等があった。

※他機関が主催するケース会議にも参加し、認知症世帯の問題や身寄りがいない、保証人がいないなど権利擁護支援の必要性も把握することができた。また、多くの機関が連携することで制度外の支援が必要な状況があることなども共有し、連携していく必要性を感じた。

(2) 相談支援機関等との連携会議等の開催・参加状況

会議等	年間回数
くらし安心・東部包括連携会議	25 回
生活困窮者自立支援事業における支援調整会議	6 回
災害公営住宅サポート担当者会議	8 回
日常生活自立支援事業 (まもりーぶ)	7 回
利用判定会議	Г Е
サポートセンター世帯アセスメント共有会議	5 回
第2層協議体 赤井	3 回
その他の会議等	
(くらし安心の情報共有会議、東部包括の情報共有会議、	231 回
多職種ネットワークおいおいの会とコアメンバー会議、	231 円
自治会役員会での勉強会等)	
合計	285 回

3. 地域における相談支援包括化ネットワークの構築を図るために必要となる事業

(1)相談支援包括化推進会議の開催

※新型コロナウイルスの影響で中止

・令和元年度東松島市相談支援包括化推進会議「地域共生社会推進セミナー」

(日時) 3月25日

(会場) 矢本東市民センター

(内容) 基調講演

「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進について」 講師:全国社会福祉協議会副会長 古都 賢一氏

(2) その他

■支援関係機関への連携・協働の働きかけ

相談支援機関を訪問し、多機関の協働による包括的な支援体制構築事業説明とネットワーク構築への参加と協力要請を行った。福祉なんでも相談窓口、「ゆったりサロン」の開催、相談包括化推進会議の開催等について、行政主管課との協議を行った。

時期	協力要請等を行った相談機関	
4月18日	くらし安心サポートセンター 東部地域包括支援センター	
7月30日	障害者相談支援事業所 とも	
12月5日	祥心会 就業・生活支援センター	
12月10日	東松島福祉会 やもと赤井の里 慶和会 花いちもんめ	
12月13日	ことぶき会 はまなすの里	
12月17日	矢本愛育会 華の園、ぎんの星、カノン	
12月19日	福祉課福祉総務班 やすらぎ会 不老園	
12月25日	民生委員・児童委員協議会役員会	
1月16日	ひまわりデイサービス障害者相談支援事業所	

1月24日	福祉課障害福祉班
1月31日	福祉課福祉総務班
2月12日	やもとケアマネネットワーク会員
2月12日	いしのまき農協
2月14日	て・あーて東松島
2月14日	商工観光課
2月17日	石巻警察署 生活安全課
2月18日	斎藤弁護士
2月19日	みやぎ心のケアセンター
2月19日	宮城県社会福祉協議会
2月20日	東松島市生涯現役促進地域連携事業推進協議会・ホープ
2月22日	音を楽しむカフェ実行委員と参加者
2月25日	仙石病院
2月27日	フードバンクいしのまき
3月2日	北原クリニック

■東松島市社会福祉法人連絡会

東松島市内の社会福祉法人の組織化を図り、社会福祉法人改革での「地域に おける公益的な取組」を共同ですすめるため、社協が事務局となり法人への働き掛け、準備会を経て、連絡会設立に努めた。

時期	会議等	協議事項等		
9月13日	設立準備会	(1) 設立趣旨について(2) 規約について(3) 令和元年度事業計画について(4) 設立総会及び祝賀会の開催について(5) 意見交換		
10月11日	設立総会・ 祝賀会	参加者:市内6法人、市保健福祉部 (1) 東松島市社会福祉法人連絡会規約について (2) 役員の選出について (3) 令和元年度事業計画について 参加者:市内6法人、市保健福祉部		
11月27日	第 1 回 幹事会	(1)包括的な支援体制づくりについて ・「福祉なんでも相談窓口」の開設について ・「集いの場×相談支援」への参加について ・「相談支援包括化推進会議」への参加について (2)福祉・介護人材の確保・定着のための取り組みに ついて 参加者:市内6法人		
1月31日	第 2 回 幹事会	(1) ゆったりサロンの開催について(2) 地域共生推進セミナーの開催について(3) 研修会 テーマ「みちのく社会福祉協同組合について」参加者:市内6法人、宮城県社協		

■「福祉なんでも相談窓口」等の開設

市内の社会福祉法人・福祉施設や相談支援事業所8カ所に「福祉なんでも相談窓口」と社会福祉協議会に「福祉総合相談窓口」を設置した。

・福祉なんでも相談窓口

	設置箇所	所在地
1	社会福祉法人 慶和会 花いちもんめ	赤井字七反谷地 73-2
2	社会福祉法人 東松島福祉会 特別養護老人ホームやもと赤井の里	赤井字川前四番 83 番地
3	社会福祉法人 矢本愛育会 東まつしま地域活動支援センター カノン	矢本字上河戸 342-2
4	社会福祉法人 矢本愛育会 障害者日中活動施設 ぎんの星	矢本字太子前 324-3
5	社会福祉法人 矢本愛育会 特別養護老人ホーム 矢本華の園	矢本字寺前 247
6	社会福祉法人 矢本愛育会 障害者日中活動支援施設 共生園	高松字西風 137-8
7	社会福祉法人 ことぶき会 ケアハウス はまなすの里	小野字中の関6番2
8	社会福祉法人 やすらぎ会 特別養護老人ホーム 不老園	野蒜ヶ丘3丁目27番地1

「福祉なんでも相談窓口」では、施設の経営分野にかかわらず、暮らしや介護など、福祉に関する地域住民の困りごとの相談を受付け、解決を試み又は「福祉総合相談窓口」や専門機関へのつなぎを行います。

•福祉総合相談窓口

設置箇所		所在地
社会福祉法人	東松島市社会福祉協議会	小松字上浮足 252 番 3

「福祉総合相談窓口」では、主に複合的な課題等解決に向け、専門機関へのつなぎや多機関協働のネットワークを生かした解決のための支援を行います。

■相談支援×集いの場「ゆったりサロン」の開催

被災者サポート事業「復興福祉のまちづくり事業」による住民参加の機会をとらえ、相談支援機関とともに地域の課題や個人の悩みごと、心配ごとなどの相談支援を行った。(4. 被災者支援事業拠点区分(1) 被災者サポートセンター運営事業③復興福祉のまちづくり事業に再掲)

■地域福祉ネットワーク会議の開催

地域の民生委員と福祉専門職の顔の見える関係づくりや情報共有、個別ケースを通しての地域課題の抽出と解決策の検討会議を行うなど、地域の関係機関・団体等との連携を深めた。

時期	会議・概要等	場所	参加者
2月18日	地域福祉ネットワーク会議(ゆったりサロン後の情報共有と地域課題などについての意見交換)	野蒜市民センター	民生委員、社会 福祉法人職員、 社協職員
2月20日	地域福祉ネットワーク会議(ゆったりサロン後の情報共有と地域課題などについての意見交換)	矢本東市民 センター	民生委員、社会 福祉法人職員、 社協職員
2月21日	地域福祉ネットワーク会議(ゆったりサロン後の情報共有と地域課題などについての意見交換)	矢本西市民 センター	民生委員、社会 福祉法人職員、 社協職員

- ・「ゆったりサロン」の終了後、会議を開催し、イベントの感想や意見を聞いた ほか、地域の民生委員と福祉関係者の顔合わせにもなり、それぞれが抱える地 域課題の共有の場ともなった。
- ・地域課題として参加した住民から多く聞かれたのが、移動手段がない、外出ができないという問題だった。民生委員からは、地域のお茶会などでも移動手段がなく出て来られない方がいる、そういった方の支援に苦慮しているという声もあったが、それに対して法人側からは、デイの送迎以外の時間であれば送迎ができるとの提案があった。
- ・今回できたネットワークを継続していくことで、移動手段以外の困りごとの共 有や地域課題への対応策の検討、そこから社会資源の創出の可能性があると 感じたため、継続していく必要性を感じた。

4. その他

(1) 研修等の実施状況

第1回 相談支援包括化推進会議として、3月25日、東松島市コミュニティセンターで「地域共生社会推進セミナー」を開催予定だったが新型コロナウイルスの影響で中止となった。次年度、再度、企画することとしている。

(3) 生活福祉資金貸付事業(県社協委託業務)

①生活福祉資金貸付事業の実施

低所得者、障害者または高齢者に対する生活福祉資金の貸付と相談支援並 びに償還に向けた支援を行った。

中水水水	相談受付件数	償還指導件数	本年度県社協への申請件数
取扱状況	12 件	13 件	0件

②特例緊急小口資金貸付(新型コロナウイルス関連)

緊急小口資金貸付窓口の開設(受付期間 3月25日~7月末) 3月末現在

	·		,		
		付件数			
取扱状況	10 件	10 万円口 4 件	20 万円口	6 件	

(4) 生活安定資金貸付事業

①生活安定資金貸付事業の実施

居住する低所得世帯に対する必要な生活資金の貸付を行い、自立更生と生活の安定を図った。

②一時援護資金貸付事業の実施

生活保護申請中の世帯に対し、小口の資金の貸付と必要な相談支援を行い、 保護決定までのつなぎ資金の貸し付けを行った。

	本年度貸付金額	本年度回収金額	本年度末貸付残高
生活安定資金	948,000円 (25件)	982,000 円	9 912 000 ⊞
一時援護資金	270,000円 (9件)	275, 000 円	2,813,000円

③生活用品等支援事業(緊急を要する要援護者への物品給付)の実施(自主事業)

食料等の購入が困難な生活困窮者に対し、生活物資の給付と自立に向けた支援に取り組んだ。

給付対象内容	件数	概要
生活困窮者への援助物資の給付	76 件	コープフードバンク及び石巻フード バンク等より提供された食糧等での 物品対応

④火災見舞金支給事業の実施(自主事業)

住宅火災に見舞われた世帯に対し、本会規程による見舞金を支給した。

見舞金	件数	本会支給分	宮城県共同募金会支給分			
火事見舞金 (全焼)	3件	見舞金 60,000円 見舞品 毛布3枚	見舞金 90,000円			

(5) 日常生活自立支援事業(県社協委託業務)

①日常生活自立支援事業(まもりーぶ)の実施

■相談受付状況

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
新規受付数 (社協扱い)	2 人	1人	0人	0人	3 人
利用者総数	7人	4 人	6人	0人	17 人

【契約に基づく利用者への具体的な援助や支援】

主な支援内容 福祉サービスに関する相談と助言・郵便物等の確認・日常 的な金銭の管理・諸費用の支払い・年金や手当の受取・書類 等の預かり

利用者からの預託物品 通帳:22通 印鑑:18本

(6) 生活復興支援資金貸付事業(県社協委託業務)

①生活復興支援資金貸付事業の実施

■職員配置状況

生活福祉資金貸付相談員 常勤1人(生活福祉資金貸付事業と一体的に実施)

- ■特例緊急小口資金償還状況(東日本大震災関連)
 - ·貸付総件数:1,698件
 - ・貸付総額:262,880,000円
 - 償還実績: 1,252件
 - ・完済率: 73.73% (宮城県全体 66.34%)
 - ・令和元年度中の完済者:28人

3. 在宅介護事業拠点区分

- (1) 訪問介護事業(介護保険)、(2) 訪問介護(障害福祉)
 - ①訪問介護事業(介護保険サービス・障害福祉サービス)の実施

	/ /I V (/			中日田山					
			延べ利	用者数	月	平均利用者	数		
			人数	構成比	前年度	今年度	差異		
			八妖	一十八八八	(A)	(B)	(B-A)		
介護保険	介護	要介護 5	27	3.1%	2.0	2. 3	0.3		
	給付	要介護 4	37	4.3%	1. 2	3. 1	1.9		
		要介護3	20	2.3%	2. 7	1. 7	△ 1.0		
		要介護 2	88	10.2%	5. 1	7.3	2.3		
		要介護 1	105	12.2%	8. 7	8.8	0.1		
		小計	277	32.2%	19. 6	23. 1	3. 5		
	予防	要支援 2	141	16.4%	12.0	11.8	\triangle 0.3		
	給付	要支援 1	165	19.2%	12.0	13.8	1.8		
		事業対象	18	2.1%	2.0	1.5	\triangle 0.5		
		小計	324	37.6%	26.0	27.0	1.0		
	計		601	69.8%	45.6	50. 1	4. 5		
障害福祉	身体障	害	34	3.9%	2.9	2.8	△ 0.1		
	精神障	害	131	15.2%	10.4	10.9	0.5		
	地域生	活支援	32	3.7%	3. 5	2.7	△ 0.8		
	計		197	22.9%	16.8	16. 4	\triangle 0.4		
産前産後へ	ルパー		2	0.2%	0.0	0.2	0.2		
ほっとサー	ビス		61	7.1%	4. 2	5. 1	0.9		
合計			861	100.0%	66.6	71.8	5. 2		
サービス提	サービス提供時間				723	727	4.0		
ヘルパー常勤換算数					6.0	6. 4	0.4		
ヘルパー	利用和				11.1	11. 3	0. 2		
1人当たり	提供印	寺間			121	114	△ 7.0		

(3) 居宅介護支援事業

①居宅介護支援事業の実施

		延べ利	用者数	月	平均利用者	数
		人数	構成比	前年度 (A)	今年度 (B)	差異(B-A)
介護給付	要介護 5	94	5. 7%	5. 3	7.8	2. 5
	要介護 4	165	10.1%	14. 3	13.8	\triangle 0.5
	要介護 3	186	11.3%	18.3	15. 5	\triangle 2.8
	要介護 2	285	17.4%	24. 2	23.8	\triangle 0.4
	要介護 1	434	26.5%	33.0	36. 2	3. 2
	小計	1, 164	71.0%	95. 1	97.0	1.9
予防給付	要支援 2	292	17.8%	18. 4	24. 3	5. 9
	要支援 1	183	11.2%	7.3	15. 3	8.0
	事業対象	0	0.0%	1.0	0.0	△ 1.0
	小計	475	29.0%	26. 7	39. 6	12. 9
合計		1,639	100.0%	121.8	136.6	14.8

ケアマネ常勤換算数		4.0	4.0	0.0
ケアマネ1人当たり利用者数		27. 1	29. 2	2. 1

※1人当たり利用者数の算定:予防給付の利用者数は2分の1でカウントしている。

■その他

•福祉用具貸与事業

居宅において生活している障害者又は高齢者の日常生活上の便宜を図るため福祉機器の貸与を実施した。

名 称	貸出件数	対象者
ギャッヂベッド	0 件	・要介護認定を受けていない者
電動ベッド	0 件	・要介護 1、予防給付に該当し(車椅子を除く)必要と認められる者で本人が住民税
車椅子	16 件	非課税である者

※車椅子は、上記の貸出しのほか、慰霊祭等、行政が行う各種行事への貸出しも行った。

4. 被災者支援事業拠点区分

(1) 被災者サポートセンター運営事業(市委託業務)

①寄り添い型被災者生活支援の実施

平成31年4月に災害公営住宅1,101戸の全戸の整備が完了し、仮設住宅及びみなし仮設住宅入居者も、終の棲家となる集団移転地への住宅再建や災害公営住宅に転居したことにより、仮設住宅やみなし仮設住宅の見守り訪問活動も4月末で終了した。今年度は、災害公営住宅入居者の見守り訪問活動を行い、被災者の孤立や生活困窮を予防するため、世帯アセスメント基準を活用し、社協内の専門職との情報共有を図り、困りごとや生活課題を早期に発見し対応にすることに努めた。

■プレハブ仮設住宅訪問件数

	矢	本東地	区	矢本西地区			Ŋ	鳥瀬地区	<u> </u>	訪	面	不
4 月	訪問 数	面会 数	不在 数	訪問 数	面会 数	不在 数	訪問 数	面会 数	不在 数	問合計	会合計	在合計
	0	0	0	0	0	0	4	0	4	4	0	4

■みなし仮設住宅訪問件数

	矢	本東地	区	矢本西地区			Ŋ	鳥瀬地区	₹	訪	面	不
4 月	訪問 数	面会 数	不在 数	訪問 数	面会 数	不在 数	訪問 数	面会 数	不在 数	問合計	会合計	在合計
	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1

■災害公営住宅訪問件数

時期	矢	本東地	区	矢	本西均	也区	F	鳥瀬地	区	訪問	面会	不在
	訪問 数	面会 数	不在 数	訪問 数	面会 数	不在 数	訪問 数	面会 数	不在 数	合計	合計	合計
4月	613	365	248	357	183	174	402	226	176	1, 372	774	598
5月	665	380	285	329	185	144	409	270	139	1, 403	835	568
6月	802	375	427	438	183	255	509	260	249	1, 749	818	931
7月	714	393	321	359	196	163	466	388	168	1, 529	877	652
8月	638	372	266	344	209	135	384	266	118	1, 366	847	519
9月	676	364	312	323	186	137	392	247	145	1, 391	797	594
10 月	674	374	300	328	178	150	372	235	137	1, 374	787	587
11月	731	377	354	342	174	168	359	219	140	1, 432	770	662
12月	731	361	370	341	186	155	379	222	157	1, 451	769	682
1月	593	315	278	332	198	134	375	250	125	1, 300	763	537
2月	619	328	291	312	172	140	377	220	157	1, 308	720	588
3 月	700	420	280	347	194	153	382	258	124	1, 429	872	557
合計	8, 156	4, 424	3, 732	4, 152	2, 244	1,908	4, 796	2, 961	1,835	17, 104	9, 629	7, 475

■要望・相談件数

	મ	ナポートも	ニンター		地域	くらし	弁護士	
時期	健康 生活支援	住環境	その他	小計	包括	安心	相談	合計
4月	12	0	0	12	2	1	1	16
5月	8	0	0	8	5	7	0	12
6月	7	0	0	7	7	6	1	21
7月	11	0	0	11	7	3	0	10
8月	7	0	0	7	5	7	1	13
9月	16	0	0	16	7	10	0	17
10 月	10	0	0	10	10	6	0	26
11月	7	0	0	7	6	4	0	17
12 月	16	0	0	16	14	5	0	35
1月	11	0	0	11	4	7	0	22
2月	12	0	0	12	6	4	0	22
3 月	7	0	0	7	4	2	0	13
合計	124	0	0	124	77	62	3	266

■関係機関につないだ件数

つなぎ先	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
健康推進課	1	4	6	2	1	3	1	1	3	3	0	1	26
福祉課	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
建築住宅課	2	0	0	3	1	2	0	1	2	0	1	0	12
包括支援センター	8	7	2	5	3	8	6	3	8	4	11	0	65
くらし安心SC	1	0	0	0	0	3	3	1	2	3	0	1	14
福祉総合相談	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
ケアマネジャ	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
障がい者支援 事業所	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	14	12	9	12	7	16	10	7	16	11	12	2	128

■関係機関との連絡調整会議

会議等名	開催回数	検討ケース数	従事者数
公営住宅サポート担当者会議	12	66	149
健康推進課との情報交換	3	120	20
あおい地区会見守り部会	3	15	40
ケース検討会	11	11	85
世帯アセスメント基準打合せ	11	232	80
合計	40	444	374

②こころと体のケア事業

東松島市の被災者を対象とした家庭訪問を通し、看護師による健康状態の把握や健康相談などの健康支援活動に努めた。

ア 業務委託先:一般社団法人日本て・あーて、TE・ARTE、推進協会

■訪問世帯の状況(矢本東・矢本西地区)

世帯数	うち面談世帯数(率)	従事者延人数
879 世帯	453件(51.5%)	34 人

■訪問世帯集計表

	n±.#n	₩ ₩	訪問丬	犬況	従事者数
	時期	世帯数	面談	不在	(化争有级
	5月	137	72	65	4
	6月	62	36	26	2
ار	7月	67	41	26	2
矢本東地区	8月	59	26	33	3
東	9月	62	35	27	2
地	10 月	108	50	58	4
	11月	51	28	23	2
	12 月	55	29	26	2
	1月	25	12	13	1
	2月	14	6	8	1
	合計	640 世帯	335 件	305 件	23 人
	時期	出出一世帯数	訪問ង	従事者数	
	L/J 29J	压而数	面談	不在	(人) (人) (人)
	5月	0	0	0	0
	6月	49	26	23	2
4	7月	37	18	19	2
本	8月	21	12	9	1
矢本西地区	9月	0	0	0	0
地区	10 月	0	0	0	0
	11 月	55	23	32	2
	12 月	41	20	21	2
	1月	21	11	10	1
	2月	15	8	7	1
	合計	239 世帯	118 件	121 件	11人

イ 業務委託先:医療社団法人 KNI

■訪問世帯の状況(鳴瀬地区)

世帯数	うち面談世帯数(率)	従事者延人数
437 世帯	262件(60.0%)	19 人

■訪問世帯集計表

時期	世帯数	訪問	従事者数	
时规	巴市教	面談	不在	促爭有数
5月	55	28	27	2
6月	55	28	27	2

7月	80	51	29	2
8月	0	0	0	0
9月	51	32	19	3
10 月	65	41	24	3
11月	22	16	6	2
12 月	45	28	17	2
1月	41	29	12	2
2月	23	9	14	1
合計	437 世帯	262 件	175 件	19 人

■活動のまとめ

- ○一般社団法人日本て・あーて、TE・ARTE、推進協会
 - ・訪問活動を通して、近隣とのつながりが生まれてきていることが確認できた。近隣 住民と知り合い、誰かが困難な状況になっときに手を差し伸べられるという風土を 育てていくことが大事である。
 - ・高齢独居の方が気力や認知低下等により孤立が懸念されるケースがあった。このようなケースの支援の在り方について悩むところである。背景には身内や近隣との人間関係、経済面、病気の悪化、個々の信念等の状況が見られ、その中でも本人の生きる気力や了解が得られるようなアプローチができるかどうかにかかっている。
 - ・訪問時不在が多い母子家庭に少しずつ面談できている。母親が長引く病気を抱えた 状況で子育てと仕事の両立しながら生活している。若い母子家庭にも目を向ける必 要性を感じた。
 - ・経年的に訪問回数を重ねたことにより、相互で話しやすい関係が生まれ、被災された方々の日々の生活の変化が把握しやすくなってきた。被災から9年経過した節目に立ち、本活動の意義や提言ができるよう今後この事業を総括していきたい。

○医療社団法人 KNI (北原)

- ・住民の高齢化とともに介護保険利用者が増えた。介護する側も高齢となっており介護サービス利用がこの先増えると考えられる。
- ・高齢夫婦でともに認知症と思われる世帯があり、現在は介護サービスを調整しながら在宅生活が行えている。問題行動がないか、生活が成り立っているか、定期的な見守りも必要だが常に変化を察知できる地域の目も重要になってくる。社会資源の活用とともに地域住民の協力体制も確立していく必要がある。
- ・糖尿病、高血圧罹患率は高いが悪化している住民はあまり見られない。呼吸器疾患、 心疾患に罹患している住民は月日とともに病状が進行している方が多い。独居の方 もいるため、体調の変化を見落とさないよう観察を継続していく必要がある。

③復興福祉のまちづくり事業

移転先での住民同士の交流機会の創出と被災者の孤立感の解消や軽減を 図るため、各自治協議会や市民センター、福祉施設との協働により、音楽 イベントを開催し、被災住民の交流の場づくりと孤立感の解消、軽減に努 めた。

■音無美紀子の歌声喫茶

時期	開催場所	参加者数
11月22日	大塩市民センター	88 人
11月22日	大曲地区センター	78 人
11月23日	東松島市老人福祉センター	128 人
		合計 294 人

■佐藤由美ピアノコンサート

時期	開催場所	参加者数
8月22日	矢本華の園	100 人
8月22日	不老園	90 人
8月23日	大曲市民センター	55 人
		合計 245 人

■「ゆったりサロン」映画上映会開催事業

被災した市民の「心のケア」を図るとともに、地域住民が気軽に立ち寄り、楽しく交流できる集いの場(社会参加)の創出と定着化を目的に福祉専門職や民生委員・児童委員の連携及び社協部署横断型による取組みとして、住民の困りごとや地域生活課題の把握と支援の場になるよう努めた。

・上映映画 : 「幸福の黄色いハンカチ」(昭和52年公開)

・そ の 他 : カレーライスの提供 (昼食交流)、福祉なんでも相談 コーナーの設置

時期	開催会場	参加人数	調理協力団体	協力法人
2月18日	野蒜市民センター	64 人	野蒜みんなの 食堂	やすらぎ会
2月20日	矢本東市民センター	61 人	大鷹会	矢本愛育会
2月21日	矢本西市民センター	68 人	小国の郷	矢本愛育会
	合計	193 人		

※以下、新型コロナウイルスの影響で中止した地区

時期	開催会場	申込者数	調理協力団体	協力法人
3月3日	小野市民センター	62 人	食生活改善 推進員会	ことぶき会
3月9日	赤井市民センター	68 人	なないろの会	東松島福祉 会
3月10日	大曲市民センター	78 人	ロマンスグレー キッチンクラブ	慶和会
3月13日	大塩市民センター	37 人	よけいなさっぺ	矢本愛育会
	合計	245 人		

④地域交流促進事業

集団移転地での住宅再建及び災害公営住宅への転居や、震災で被災し住宅が減少した地域の住民同士のコミュニティづくりのひとつとして、フラワーアレジメント教室を開催し、住民同士の交流促進と孤立感の解消に努めた。

■フラワーアレジメント教室

講師:フラワー装飾一級技能士 金子 美枝 氏 (神奈川県横浜市在住)

時期	開催場所	参加者数
6月22日	野蒜市民センター	23 人
6月23日	小野市民センター	30 人
6月24日	東松島市コミュニティセンター	45 人
11月17日	野蒜市民センター	24 人
11月17日	東松島市コミュニティセンター	30 人
11月18日	矢本西市民センター	35 人
2月22日	野蒜市民センター	27 人
2月22日	矢本西市民センター	18 人
2月23日	老人福祉センター	30 人
	合計	262 人

⑤いきいき百歳体操とサロン活動の推進

「いきいき百歳体操」の普及と口腔ケアを目的に「かみかみ百歳体操」を取り入れ、体操終了後のお茶会等とあわせ小地域福祉活動の拠点づくりに努めた。

■百歳体操実施団体(新規8団体、○印「かみかみ体操」実施団体)

	地区名	サークル名	かみかみ	開催日	開催場所
1	下町	下町べっぴん百歳体操	0	火・金	下町地区センター
2	川下	川下地区百歳体操	0	木	川下地区センター
3	南新町	にこにこサロン	0	木	南区新町地区センター
4	小野下	新道町内会自治会		火	小野下地区センター
5	あおい2	あおい元気サークル	0	火	あおい二丁目地区センター
6	下小松	下小松地区健康体操		木	下小松地区センター
7	南三区	なごみ会	0	木	川前集会所
8	浅井	浅井百歳体操会	0	火	浅井地区センター
9	大 溜	あいサロンぽっぽ	0	水	大溜地区センター
10	小野上	遊楽楽会	\circ	木	小野上地区センター
11	上納	^ルシーカフェあがらいん茶 屋		金	上納地区センター
12	里 浜	里浜げんきクラブ	0	月	里浜地区センター
13	柳区	なないろの会	0	木	柳の目西住宅集会所
14	平岡	はつらつシニア	0	火	平岡地区センター
15	往還下	還下 しゃんしゃんとクラブ		火	小野駅前東集会所
16	亀 岡	日		木	亀岡地区センター
17	小松南	小松南 爺・婆まけん隊		月	小松南住宅集会所
18	貝 田	田 よつばの会		火	大曲地区センター
19	作田浦	いきいき百歳体操の会	\circ	月	矢本東市民センター

20	南五	105 ピンピン体操の会	0	木	南区西地区センター
21	中下	いきいきちょっこら会	0	金	中下地区センター
22	赤井駅前	川前サルビア会		金	川前集会所
23	三角公園	いきいき三燦会	0	水	上町西地区センター
24	柳西	柳西区はまなす会	0	月	川前集会所
25	室浜	チーム室浜		木	室浜地区センター
26	関の内	いきいき長寿会	0	金	関の内地区センター
27	二反走	にっこり百歳体操	0	金	二反走集会所
28	南区	南区和幸会		火	南区西地区センター
29	野蒜ヶ丘3	スマイル元気会		水	野蒜ヶ丘西部集会所
30	前 里 前里百歳体操			月	前里地区センター
31	東名	東名あざみの会	0	木	東名地区ふれあいセンター
32	大浜台	ほっこり常楽会		金	大浜地区センター
33	大 塚	かたくり会	\circ	火	大塚地区センター
34	鹿 妻	鹿妻百歳体操	0	金	鹿妻地区センター
35	小松台	なんだ坂こんな坂 サークル	0	木	小松台地区センター
36	野蒜ヶ丘2	いきいき会	\circ	月	野蒜ヶ丘中央集会所
37	四反走	悠悠クラブ	0	火	四反走地区センター
38	西福田	西福田地区こまち	0	金	西福田下地区センター
39	あおい3	なごみ百歳体操	0	金	あおい三丁目地区セ ンター
40	上町東	カトレア会	0	金	上町東地区センター
41	裏 沢	いきいきほっとサロン	\circ	水	裏沢地区センター
42	中区	さくらんぼ会	0	金	中区地区センター
43	塩入	あったかサロン・シオ イリ	0	水	塩入地区センター
44	野蒜ケ丘1	シャンシャン会	0	月	野蒜市民センター
45	上河戸若葉	上若百の会	0	月	上河戸地区センター
46	上河戸一	ひよこクラブ	0	火	河戸地区センター
47	大塩中	大塩スマイル	0	火	大塩市民センター
48	下町一	下町一ふあふあ会	0	木	南浦地区センター
49	大 島	大島地区健康体操	0	火	大島地区センター
50	南新町②	いきいきクラブ	0	金	南区新町地区センター
51	谷地	お茶サロン谷地	0	水	谷地地区センター
52	月浜	ピンコロ体操	0	火	月浜地区センター
53	柳北	生き活きライフクラブ	0	水	柳北区地区センター
54	横沼	横沼櫻木の会	0	月	横沼地区センター
55	下区	すみれ会	0	金	下区地区センター
56	表	表百歳体操	\circ	月	表地区センター

57	東大溜	なのはなクラブ	0	火	大溜地区センター
58	手 招	手招ひまわり会	\circ	火	手招地区センター
59	上町東②	ひまわり会	\circ	火	上町東地区センター
60	小分木	小分木 110 歳		木	小分木地区センター
61	沢田	沢田いきいき 101 歳	\circ	火	沢田地区センター
62	前 柳	前 柳 前柳月見草		木	前柳地区センター
63	立 沼	立華会		火	立沼地区センター
64	上下堤	みんなでいきいき楽し む会		金	上下堤地区センター
65	上小松	上小松いきいき会		金	上小松地区センター
66	根古	根古ふれあいサロン		木	根古地区センター

新規団体

■いきいき百歳体操交流大会の実施

-			
	時期	会場	内容
	9月19日	東松島市民体育館	・浅見先生による講演「認知症にならないために」・言語聴覚士より「かみかみ体操」の健康
	9月25日	小野地区体育館	講話 【参加者数 延べ 560 人】

- ■いきいき百歳体操体力測定(かみかみ百歳評価事業含む)実施回数
 - ・理学療法士及び作業療法士、言語視聴覚士の派遣数

医療法人医徳会(真壁病院) 28回

医療法人啓人会(ロイヤル病院) 42回

医療法人KNI(北原クリニック) 13回

医療法人社団健育会ひまわり訪問看護スティーション 13回

- サポータークラブ「虹」派遣回数及び人数体力測定等 110回 228人
- ■地域サロン推進支援

サロンスタッフの派遣(レクリェーション等活動支援) 59 団体へ 210 回

■地域交流サロンの運営支援事業

集団移転地の住宅再建や災害公営住宅への転居及び震災により住宅が減少した地域の住民相互のつながりが希薄化しており、交流の場づくりを積極的に支援し、孤立感の解消や軽減を図った。

時期	回数	参加者数	時期	回数	参加者数
4 月	79 回	677 人	10 月	102 回	874 人
5 月	90 回	645 人	11月	88 回	805 人
6 月	87 回	792 人	12 月	82 回	579 人
7月	92 回	919 人	1月	88 回	736 人
8月	68 回	589 人	2月	96 回	754 人
9月	86 回	628 人	3 月	0 回	0人
			合計	958 回	7,998人

※3月は、新型コロナウイルスの影響で中止

⑥高校生ボランティア創出事業

ボランティア促進・啓発活動の一環として、災害公営住宅等の移転地での 実践活動と他県の高校生ボランティアとのワークショップ等の開催を通じ、 次代を担う高校生のボランティア意識の啓発と育成に努めた。

			4 2.4m	
時期	内容	場所	参加	
1.4 781	1 174	**************************************	学生	
4月7日	あおい地区春まつり	あおい地区	11人	
6月5日	ボランティア活動説明会	石巻西高校	28 人	
6月20日	高校生カフェ企画会議	石巻西高校	10 人	
C = 00 =	とっておきの音楽祭 in 東まつしま	歩1 ノい カ	۱ ٥	
6月23日	運営準備	蔵しっくパーク 	8人	
7 H 10 H	とっておきの音楽祭 in 東まつしま	夢 1 - ノ パ カ	2 1	
7月13日	前日準備	蔵しっくパーク	3 人	
7月14日	とっておきの音楽祭 in 東まつしま	市内	18 人	
	栃木県日光市の高校生との交流事業	t +>) \		
7月20日	(1 日目)	あおい	23 人	
	高校生カフェ開催	西集会所		
	栃木県日光市の高校生との交流事業			
7月21日	(2日目) 東松島市内復興状況視察	市内各所	26 人	
	スタディーツアー等			
1月25日	音を楽しむカフェ運営ボランティア	蔵しっくパーク	2 人	
		合計	129 人	

⑦被災者法律相談強化事業

被災者が抱える生活上の法律的課題に対し、解決に向けた助言を与えることができるよう、顧問弁護士と相談業務の委託契約を行い、多様で複雑な生活課題(多重債務や生活困窮、権利擁護、その他家族関係等)に対するサポートセンターの相談支援機能の強化を図った。

- ■顧問弁護士委託先:齋藤智弁護士事務所 斎藤 智 氏
 - ・ 個別支援に関するアドバイス (随時)
 - ・複合的な生活課題を抱える世帯への支援 弁護士への個別相談件数 延べ43件 (うち、災害公営住宅入居世帯の相談3件)

⑧復興支援ボランティア団体情報共有化事業

市内のボランティア団体及び国、県、市復興担当関係機関で組織している 復興ボランティア団体の事務局を担当し、それぞれの活動情報や助成金の申 請事務及び助成事業への取り組みについて情報の共有化を図った。(登録団 体 22 団体)

■会議の開催(参加団体数)

5月15日 (16 団体)、8月21日 (11 団体)、11月20日 (11 団体)、2月19日 (9 団体)

⑨復興支援ボランティアの受け入れ調整と派遣

被災地域や住民交流が少ない災害公営住宅等での交流支援ボランティアのコーディネートを実施した。

■受入調整総数(県内外の団体から支援)

時期	受入件数	活動人数 (ボランティア数)	参加住民人数
4月	5 件	22 人	867 人
5月	3 件	9 人	45 人
6月	4件	36 人	75 人
7月	3件	29 人	73 人
8月	3件	11 人	75 人
9月	5件	21 人	174 人
10 月	2 件	6 人	30 人
11月	2 件	6 人	34 人
12 月	4件	25 人	184 人
1月	4件	14 人	128 人
2月	3 件	12 人	77 人
3月	0 件	0 人	0 人
合計	38 件	191 人	1,762 人

■活動内容

ア 自治体の依頼により研修として受け入れしたもの 団体名:兵庫県新任職員被災地ボランティア (27人)

時期	参加住民数	内容
6月27日	20 人	災害公営住宅内清掃 (7件)、地域農園での 作業を通じた住民との交流、意見交換会

イ 被災地及び集団移転地等の地域で受け入れしたもの(料理教室) 団体名:公益財団法人 味の素ファンデーション

時期	参加人数	対象地域		
4月	35 人	亀岡地区、大浜地区、上納地区		
5月	45 人	平岡地区、柳の目西、柳北地区		
6月	55 人	大曲地区、大溜地区、柳の目西		
7月	28 人	大浜地区、南新町地区		
8月	25 人	大曲市民、谷地地区,		
9月	88 人	関の内地区、下町地区、大曲地区		
10月	30 人	道地地区、大塩地区中		
11月	34 人	表地区、塩入地区		
12月	44 人	沢田地区,月浜地区		
1月	98 人	小野上地区、川下地区、上納地区		
2月	47 人	上下堤地区、大曲地区		
3月	中止	野蒜が丘3丁目、新田地区		
合計	529 人			

※3月は、新型コロナウイルスの影響で中止

ウ 企業のCSR活動としての被災地支援イベントの開催

団体名:新生銀行グループ(代表 15人)

開催日:12月1日

内容:加藤ミュージックワールドのクリスマスコンサート(軽食付き)

会場:バリューザホテル東松島矢本 参加者数: 136人

エ その他の交流支援

時期	支援団体名	内容・場所	活動 人数		
4月4日	埼玉県おひさま文庫	宮野森小放課後児童クラ ブでの人形劇	2 人		
4月7日	高校生ボランティア	あおい地区夏祭り支援	11 人		
8月8日	矢本民謡桃香会	野蒜ケ丘西部集会所での 盆踊りの披露	5 人		
9月12日	萩乃若扇壽会	特別養護老人ホーム不老 園敬老会演芸の披露	8人		
9月16日	宮城いきいきこでまり会	野蒜ケ丘西部集会所敬老 会演芸の披露住民参加	4 人		
1月27日	個人ボランティア	南新町地区センターサロ ンでのおもしろ講話	1人		
2月25日	プチ・シャンテ	南新町地区センターサロンでの演芸の披露	3 人		
合計 34 人					

⑩ものわすれ予防事業

集団移転先や災害公営住宅及び震災で被災した地域などでも増加傾向にある"もの忘れ"を気にしている方を対象に認知症をはじめ心身の健康について学ぶ事業を実施した。講師:臨床心理士 浅見大紀氏

	会場	回数	参加 延人数		会場	回数	参加 延人数
1	野蒜市民センター	4	36	8	小野市民 センター	4	74
2	矢本東市民 センター	4	21	9	二反走地区 センター	1	27
3	大塩市民 センター	5	47	10	裏沢地区 センター	1	18
4	老人福祉 センター	6	102	11	横沼地区 センター	1	15
5	大曲市民 センター	5	107	12	柳の目西地区 センター	1	25
6	矢本西市民 センター	4	48	13	柳の目東地区 センター	1	45
7	赤井市民 センター	5	67	14	野蒜ヶ丘中央 集会所	1	28
	승計 43 660						

5. 地域包括支援センター事業拠点区分

高齢者の総合相談窓口として、介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援 事業、虐待対応等の権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、 認知症総合支援事業、一般介護予防事業、指定介護予防支援事業等に取り組んだ。

総合相談支援業務においては、継続的な関与が必要なケースが増加傾向にあった。一般介護予防業務においては、新規事業として、意欲低下等により閉じこもりがちな方、地域のサロン活動等への参加が定着しない方、活動場所や居場所がない方など65歳以上の男性高齢者を対象とし、介護予防、認知症予防になることを目的とした「カラダ応援企画」に取り組んだ。

権利擁護業務においては、意思決定支援を丁寧に行う必要や多職種多分野との連携も必要であることから、主に従事する社会福祉士に業務負担がかかっているという課題があった。このため、市と協議し、職員配置の見直しを行い、3月から社会福祉士を1名増員した。

(1) 地域包括支援センター事業(市委託業務)

■職員配置数・体制

職種	勤務体制・配置数
保健師	常勤1名
社会福祉士	常勤3名
主任介護支援専門員	常勤1名

※3月16日1名増員

【1】第1号介護予防支援事業

①第1号介護予防支援

介護予防ケアマネジメント業務 (新しい介護予防・日常生活支援総合事業)

	新規	給付 管理数	再)委託 件数	対応件数 (延べ)	再) 訪問対 応件数(延 べ)	担当者会議 開催件数
事業対象者	0	107	69	43	8	0
訪問型サービスC	1	2	0	1	1	1
要支援 1	10	895	577	266	101	34
要支援 2	7	372	256	144	41	26
合計	18	1376	902	454	151	61

【2】包括的支援業務

①総合相談支援業務

■〈相談件数〉

	内訳	新規	継続	実人数	相談延べ件数
相	訪問	25	17	36	40
相談方法	来所 (面接)	124	29	145	153
法	電話	461	112	526	573
	その他 (メール等)	33	11	43	44
	合計	642	169	750	810
再掲)	夜間•休日相談件数	5	1	6	6

※実人数は、毎月の実績報告の累計

■総合相談継続関与ケース総数

公公担談 ケニュ粉	継続	終結	新規	総計
総合相談ケース数	413	22	32	467

※実人数は、毎月の実績報告の累計

■相談経路

内訳	新規	延べ件数
本人	62	96
家族	166	213
親戚	14	19
介護支援専門員	72	90
介護サービス事業所	20	23
障害者相談支援事業所	12	12
生活支援コーディネーター	2	2
くらし安心サポートセンター	4	6
被災者サポートセンター	36	44
他圏域 地域包括支援センター	9	10
市役所	93	110
医療機関	60	74
民生委員	43	50
自治会関係者	5	5
近隣者	18	21
その他	26	33
合計	642	808

■相談内訳(重複あり)

内訳	新規	延べ件数
介護相談(介護方法等)	5	10
介護保険関連	149	182
介護保険・予防サービス	168	213
地域支援サービス	8	11
福祉サービス	13	19
保健・健康相談	71	84
医療に関すること	27	36
※認知症に関すること	44	54
生活に関すること	176	223
施設入所に関すること	19	22
虐待	7	10
権利擁護	10	16
その他	31	36
合計	728	916

②権利擁護業務

ア 権利擁護関係相談

■相談概要

内訳	新規 件数	継続	実人数	相談対応件 数(延べ)	再)訪問対応 件数(延べ)
高齢者虐待	11	77	101	271	67
セルフネグレクト	0	0	0	0	0
判断能力を欠く常況に ある人への支援	12	52	59	313	108
成年後見制度利用促 進	4	20	22	107	26
消費者被害	0	0	0	0	0
困難事例	6	24	27	107	42
その他	4	14	17	134	51
合計	37	187	226	932	294

イ ケース会議、研修会等の開催 52回

虐待個別ケース会議開催:23回 権利擁護ケース会議開催:24回 上記双方に関して、関係機関主催の会議(医療機関、多市町村など):8回

ウ ケース会議以外の研修会・会議等の開催・参加状況

時期	内容等
	(事業名)権利擁護の啓発
	(内容)権利擁護とは~包括事業説明、虐待、消費者被害に
5月17日	ついて
	(対象者)ともころん(「とも」のお茶会参加者)
	(場所) 障害支援事業所 とも
	(事業名) やもとケアマネネット
0 8 11 8	(内容)権利擁護についての啓発(包括が行う権利擁護業
9月11日	務)
	(場所) 老人福祉センター 集会室
10 日 10 日	(内容) 高齢者虐待防止研修会
12月13日	(場所) 石巻合同庁舎1階 大会議室
1 日 00 日	(内容)成年後見制度利用促進の為の意見交換会 in 石巻
1月23日	(場所) 石巻中央公民館 大ホール

③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

ア 日常的相談支援

相談経路	実数	延べ件数
ケアマネ相談件数	67	76
サービス事業者からの相談件数	6	7

イ 研修会等の開催

実施回数	3
参加人数	92

■主な実施事項

■上/4天/旭尹	
時期	内容等
4月19日	 (事業名)介護支援専門員連絡会議(情報交換会) (目 的)地域の介護支援専門員同士のネットワークが図れて、情報交換ができる。 (内 容)情報交換会 ・東部・西部地域包括支援センターの紹介と31年度の計画について ・情報交換会(3つのテーマについてグループワークする)(41人参加)
4月28日	 (事業名)介護支援専門員連絡会議(アセスメント研修会) (目 的)介護支援専門員間のネットワーク構築とケアマネジメントの質の向上 (内 容)改訂された介護支援の手引きについて講師:小湊純一氏(NPO法人 ふくし@JMI(場 所)場所:老人福祉センター(集会室)(41人参加)
1月17日	(事業名)介護支援専門員連絡会議(事例検討会) (目的)ケアマネジャーの助言、スキアルアップを目指す (内容)要介護認定だが、生活の質向上にどういった視点が 必要か、確認する。 (開催場所)東松島市老人福祉センター(10人参加)

ウ 地域におけるネットワークの構築等の実施 会議等参加回数…8 会議等実施回数…7 参加人数…97

■主な実施事項

- ・赤井地区第2層協議体「赤井はひとつおせっ会」
- ・包括PRカードを作成し、医療機関・薬局などへ設置依頼

■参画・研修等の受講

- やもとケアマネネットワーク研修会
- ・宮城県地域包括支援センター職員等基礎研修会
- ·介護支援専門員連絡会
- ・ふれあいのつどい
- ・東松島市地域支え合いフォーラム(再掲) ※新型コロナウイルスの影響で中止

④在宅医療・介護連携推進事業

ア 在宅医療・介護連携に関する相談、研修会等 会議等参加回数…6回 相談等実施回数…87回

- ■主な相談内容
- ・退院へ向けての介入相談
- ・ サービス調整相談
- 介護認定やケアマネジャー有無の問い合わせなど
- ■研修会・会議等の開催・参画
- ・東松島市在宅医療・介護連携協議会への参画
- ・権利擁護ケースの医療機関主催の会議など

⑤認知症総合支援事業

ア 認知症初期集中支援推進事業に関する業務

宝能知提 計 問 粉	新規	延べ件数
美 思把握訪問剱	4	6

チーム員としての訪	実人数	延べ件数
問件数	7	10

イ 各種認知症事業の開催

■認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族が暮らしやすい地域をつくるために、担当地域の市民や学校、各種団体等を対象に開催した。

内容	開催数・対象・参加者数	
事前打ち合わせ	12 回開催 参加メイト数延べ 59 人	
	10 回開催 サポーター数 307 人	
	小学校:赤井南小3学年 赤井小5学年・PTA	
サポーター養成講座	矢本東小 3 学年	
	職域:薬局、郵便局、市職員、特別養護老人ホーム	
	住民:地区サロン、一般市民	

- ウ 認知症サポータースキルアップ研修(1回開催・参加者数 42人) 認知症についてさらに理解を深めてもらう場とサポーターとしてでき ることに取り組むきっかけにしてもらうため開催した。
- エ 認知症サポーター施設見学(2回開催・参加延べ人数28人) 認知症サポーター養成講座やスキルアップ研修を受講された方を対象 に、特別養護老人ホーム矢本華の園の施設見学を開催した。

認知症高齢者との交流や介護の現場の様子を肌で感じることを通し、 地域の中で認知症高齢者を支える視点や認知症になっても地域で生活す ることの意味を考えることができた。

オ 東松島市キャラバン・メイト協議会支援

キャラバン・メイトの質の向上を目指し、協議会の運営を支援した。

時期	内容等
4月20日	(内容) 東松島市キャラバン・メイト協議会総会 (実施場所) 老人福祉センター (14 人参加)

7月18日	(内容)第2回研修会 認知症について理解を深める (実施場所)老人福祉センター (11人参加)
12月17日	(内容)第3回研修会 権利擁護について (実施場所)老人福祉センター (8人参加)

カ 認知症カフェ (10回開催・参加延べ人数 150人)

認知症の人とその家族を支える地域の繋がりを支援するため、市・西部地域包括支援センターと共同で開催した。楽しめる内容が盛り込まれたことによるイベント(内容)を目的とする参加者だけでなく、個別の相談に応じてもらえることの浸透により、参加人数が増えている。

〔会場〕ゆぷと1階 「キッチンクラブ カノン」

時期	内容等	参加人数
4月10日	さつき苑職員による、タイルクラフトつくり 今年度やりたいことの意見交換	6人
5月9日	薬剤師による講話 講師:土佐貴弘氏(こぐま薬局)、榑林雅司(若 葉薬局)、但馬浩子氏(齋藤病院)	8人
6月12日	詐欺事件について知ろう 寸劇と講話:さつき苑 阿部氏 、西部包括 長畑氏	9人
7月11日	かかりつけ医から診た認知症とは 講師: 鳴瀬中央医院 齋藤雄康院長	36 人
9月11日	「みんなで楽しもう!笑いヨガ 講師:伊藤良子氏(日本て・あーて理事)	18 人
10月10日	健康とリハビリについて知ろう!」 講師:小野剛広氏(真壁病院 技師長〔理学療 法士〕)	12 人
11月13日	「作業療法について知ろう」「認知症の方の家族の介護負担感に関する調査」の発表 東北文化学園学生	5 人
12月12日	「栄養士さんから食事について知ろう」 講師:真壁病院 八木管理栄養士	11 人
1月16日	「みんなで楽しもう!オカリナ演奏」 オカリナ演者 成沢孝志氏	17 人
2月13日	「心の整理と片付け」〜よりよく生きるために〜 講師:ライフオーガナイザー 田村房子氏	23 人

キ 認知症介護家族の情報交換会

認知症介護家族の孤立防止や介護負担の軽減を目指すため開催した。 啓発の仕方やニーズ把握に課題を残した。(11 回開催・参加人数介護家族:延べ39人、認知症当事者:延べ3人)

[開催場所] 東松島市老人福祉センター

時期	参加者(人)	
时别	介護家族	認知症当事者
4月15日	3	0
5月17日	1	0
6月17日	3	0
7月19日	8	0
8月19日	3	0
9月20日	3	1
10月21日	3	1
11月15日	3	1
12月16日	4	0
1月17日	3	0
2月17日	5	0

- ク その他 (研修会・会議参加等)
 - ・認知症初期集中支援チーム員研修会
 - · 認知症地域支援推進員情報交換会
 - ・東松島市認知症ケア連携会議など

【3】多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

- ・会議等参加回数 19回
- ·会議開催回数 3回(参加者17人)
- ■ネットワーク構築のため参加した会議等名
 - おいおいの会
 - · 東松島市民生委員児童委員協議会定例会
 - 東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)
 - ・災害公営住民サポート担当者会議
 - · 障害者総合支援協議会相談支援部会研修
 - ・視覚・聴覚語らいサロン in 東松島
 - ・世帯アセスメント会議

【4】地域ケア会議の実施 地域ケア会議の開催

- ■個別地域ケア会議 7回
 - ・認知症独居高齢者、認知症高齢者夫婦の在宅支援について
 - ・判断能力に欠ける独居高齢者の在宅支援について
 - ・精神疾患がある独居高齢者の在宅支援について
 - ・認知症高齢者の言動に対する理解を促し地域連携へ向けて

【5】指定介護予防支援

	新規契約 件数	契約総数	再)一部 委託件数	給付管理 件数	対応件数
要支援 1	36	897	383	719	433
要支援 2	39	1,012	526	939	391
合計	75	1, 909	909	1,658	824

■給付管理した委託事業所数

新規居宅委託件数	7
居宅委託終了件数	0

【6】任意事業、その他の業務

①一般介護予防事業(相談会・出前講座等の実施)

ア 介護予防普及啓発事業

■介護予防事業

地域のお茶会やサロン等に出向いて講話や相談会を行い、介護予防 の普及啓発に努めた。

■カラダ応援企画

意欲低下等により閉じこもりがちな方、地域のサロン活動等への参加が定着しない方、活動場所や居場所がない方など 65 歳以上の男性高齢者を対象とし、介護予防、認知症予防になることを目的に実施した。活動場所まで自力で来ることが困難(意欲、身体状況、経済状況など理由)な方もおり、送迎が課題となっている。

37 040 /			
時期	内容等	参加人数	
	(内容) ポールウォーキング		
5月9日	(講師) Good すぽーつ東松島 斉藤クラブマネージャー	9 人	
	(場所)鷹来の森運動公園		
7 日 4 日	(内容)卓球・ニュースポーツの実施	1 F	
7月4日	(場所) 東松島市体育館	15 人	
	(内容) 軽運動・スクエアステップ		
10月10日	(講師) 三浦 順子氏(健康運動指導士)	12 人	
	(場所)老人福祉センター		
10 🗆 10 🗆	(内容) レクリエーションン	10 /	
12月10日	(場所)老人福祉センター	12 人	

イ 地域介護予防活動支援業務

■いきいき百歳体操の支援

できる限り要介護状態になることなく、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう介護予防を目的とした支援を行った。(10回参加)

■もの忘れ健康教室

認知症の実態把握を行うことで、支援が必要な方を発見し、必要な支援に結びつけるため、開催した。行った支援としては認知症介護家族会や認知症カフェへつないだ。

場所	期間(回数)	延べ参加人数
矢本東市民センター	6月7日~6月27日(計4回)	21 人
大曲市民センター	10月3日~10月31日(計5回)	107 人
赤井市民センター	12月5日~12月26日(計4回)	40 人

②任意事業

内訳	件数
住宅改修の相談	10
福祉用具購入相談	6
サービス利用申請代行	41

③その他(参加した主な会議等)

- ・地域密着型デイサービス「やもと赤井の里」運営推進会議
- ・ 小規模多機能型居宅介護施設「きらきら」運営推進会議
- 東松島市自死対策地域連絡協議会
- · 東松島市徘徊模擬訓練
- ・「地域における公益的な取組」の推進に向けた意見交換会
- ・災害ケースマネジメント研修会
- ・第56回社会福祉セミナー 「身寄りのない人」と社会福祉
- ・令和元年度宮城県介護予防のための地域ケア個別会議推進研修会
- ・令和元年度介護保険サービス事業者等集団指導
- ・令和元年度宮城県地域づくりによる介護予防推進研修会
- ・空き家等相談会

令和元年度 事業報告書

令和2年5月 発行



社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

〒981-0504 宮城県東松島市小松字上浮足 2 5 2 - 3 ${\tt Tel}\ 0225{-}83{-}2851\ /\ {\tt Fax}\ 0225{-}83{-}4561$ E-mail higasimatusima@dolphin.ocn.ne.jp URL http://www.hmfukushi.jp